

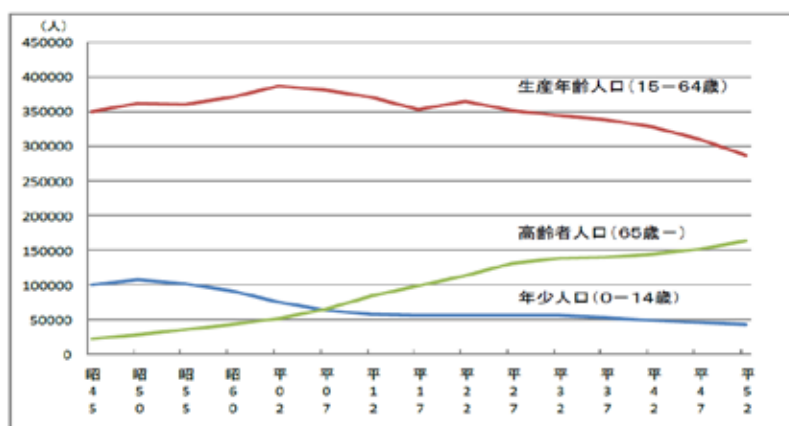
第2章 現況

1 人口・世帯の動向

(1)人口（区の状況）

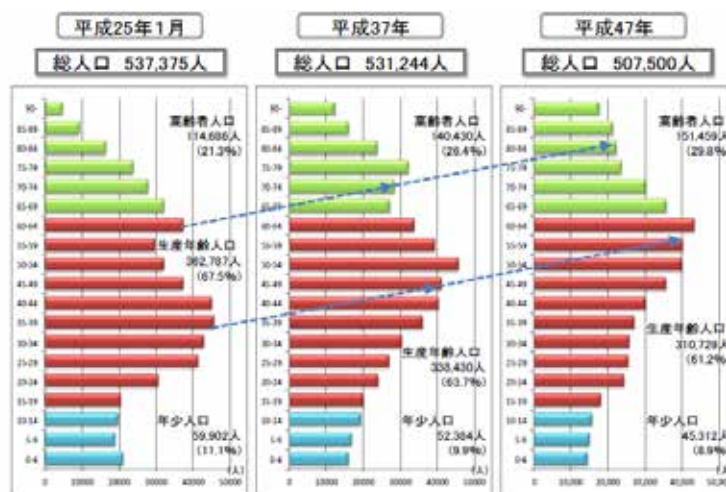
- ・住民基本台帳によると、平成26年1月現在、板橋区全体の人口は540,040人（内外国人16,714人）となっています。
- ・65歳以上の高齢者人口は増加し続けており、平成24年から団塊の世代が65歳以上の前期高齢者に到達しはじめ、平成37年には75歳以上の後期高齢者にほぼ移行すると予測されています。
- ・その一方で、14歳以下の年少人口と、15歳～64歳の生産年齢人口は減少することが想定され、人口構造は大きく変化し少子高齢化が一層進むことが予測されています。

グラフ：板橋区の年齢3区分別人口数の推移と将来推計



出典：公共施設等の整備に関するマスタープラン（H25.5）

グラフ：板橋区人口ピラミッドの変化



出典：公共施設等の整備に関するマスタープラン（H25.5）

人口（高島平の状況）

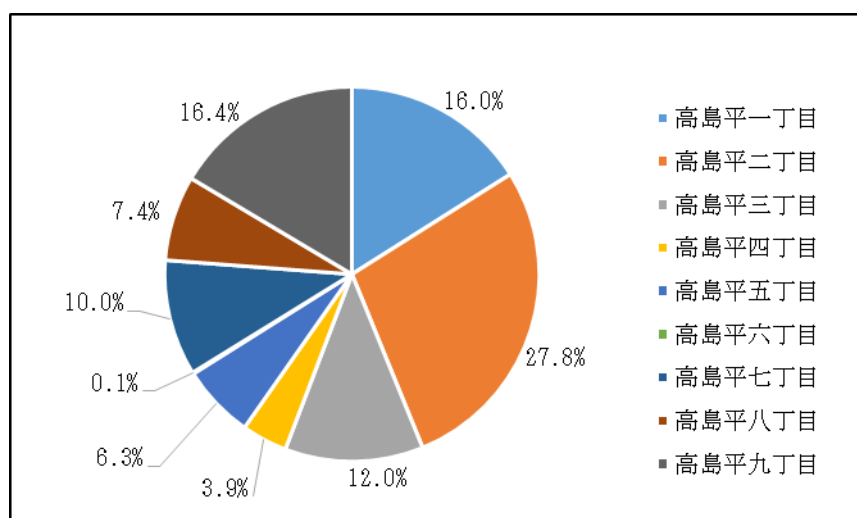
- ・高島平地域の人口は 49,268 人であり、板橋区の人口の約 9.1%を占めています。
- ・町丁目別の人口構成をみると、高島平二丁目の人口が 27.8%と最も多く、次いで高島平九丁目（16.4%）、高島平一丁目（16.0%）となっています。なお、高島平団地のある高島平二丁目、三丁目では、地域の約 40%の人口を占めています。
- ・町丁目別の人口密度をみると、高島平団地の賃貸住宅部分である高島平二丁目が高島平一丁目より高く、297.7 人/ha、学校や公園を抱える高島平三丁目、四丁目、良好な低層住宅街である高島平五丁目は低く、特に高島平六丁目は流通業務団地が大半を占めるため 1.5 人/ha と極端に低くなっています。

表：高島平地域の人口

	人口	面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
板橋区	540,040	32.17	167.9
高島平一丁目	7,905	0.44	179.7
高島平二丁目	13,693	0.46	297.7
高島平三丁目	5,890	0.41	143.7
高島平四丁目	1,942	0.21	92.5
高島平五丁目	3,128	0.29	107.9
高島平六丁目	57	0.38	1.5
高島平七丁目	4,929	0.27	182.6
高島平八丁目	3,624	0.21	172.6
高島平九丁目	8,100	0.46	176.1
高島平地域	49,268	3.13	157.4

出典：住民基本台帳（H26.1.1）

グラフ：高島平地域 人口構成

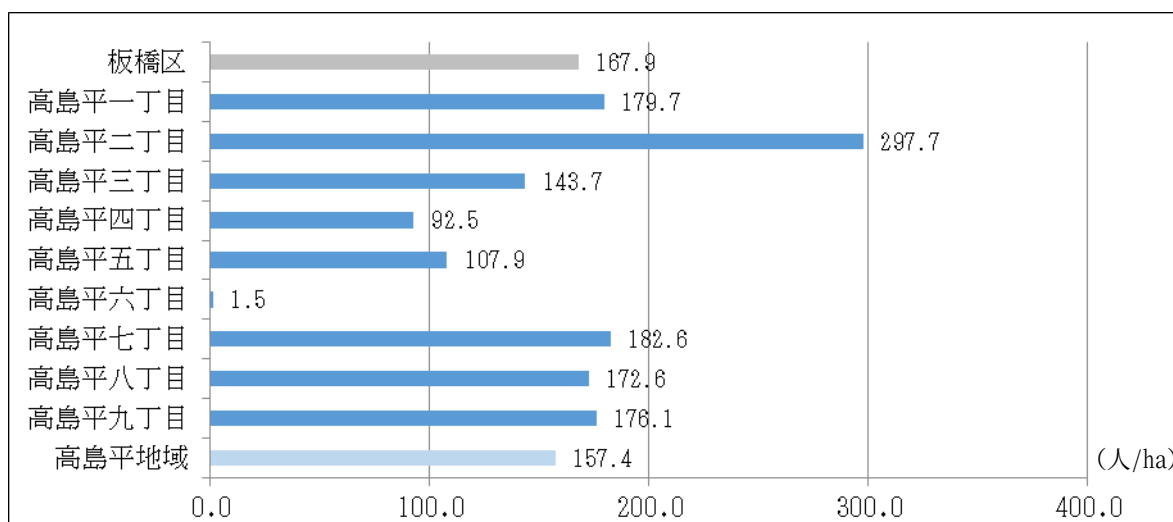


出典：住民基本台帳（H26.1.1）

【人口推移】

- ・近年、板橋区全体及び高島平地域における人口は、ほぼ横ばいとなっています。
- ・各年の対平成 17 年の人口増減比をみると、板橋区全体では、微増となっていますが、高島平地域においては、町丁目によって増減が分かれています。特に減少傾向にあるのは、高島平団地のある高島平二丁目、三丁目及び流通業務団地を抱える高島平六丁目です。
- ・このうち、高島平六丁目は大半が流通業務団地の占める地区であるため、単純に他の町丁目と比較しがたいですが、高島平二丁目、三丁目は他の町丁目同様に住宅主体の地区であり、周辺よりも、高島平地域内人口の約 40%を占める高島平団地において人口減少が特に進んでいることがみてとれます。

グラフ：人口密度



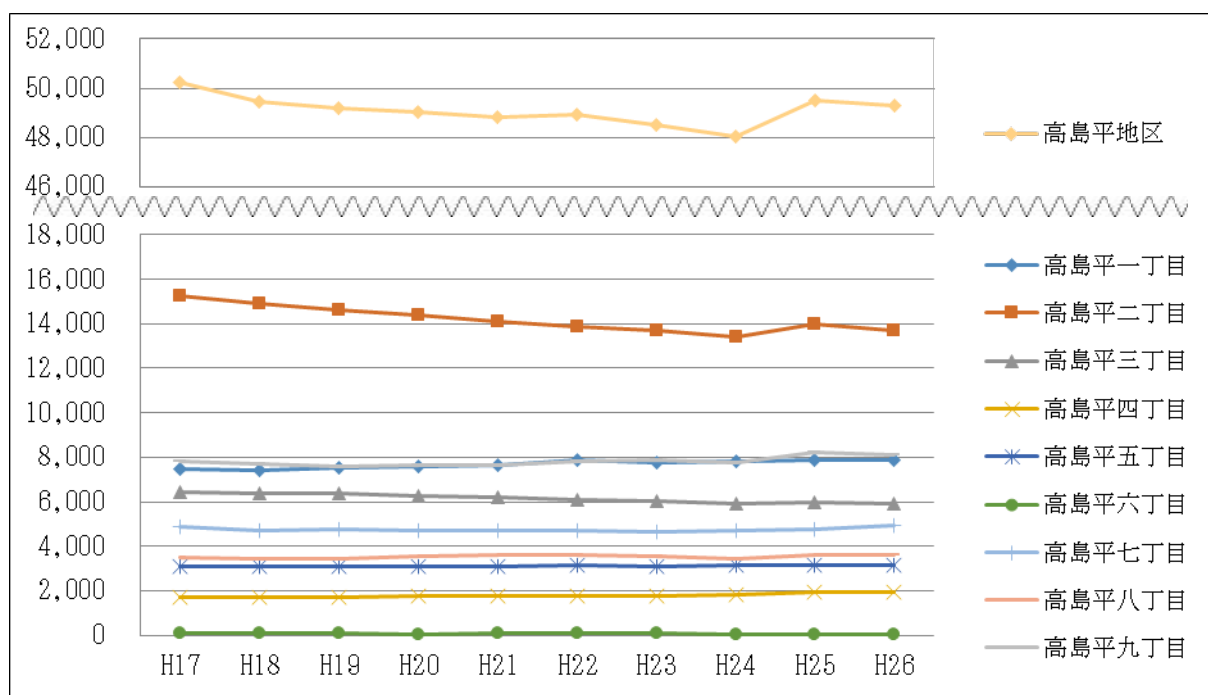
出典：住民基本台帳 (H26.1.1)

表：高島平地域の人口推移

人口	板橋区	高島平一丁目	高島平二丁目	高島平三丁目	高島平四丁目	高島平五丁目	高島平六丁目	高島平七丁目	高島平八丁目	高島平九丁目	高島平地域
H17	522,365	7,455	15,270	6,433	1,710	3,091	76	4,859	3,486	7,843	50,223
H18	523,777	7,394	14,914	6,382	1,690	3,080	73	4,721	3,466	7,724	49,444
H19	526,527	7,528	14,610	6,375	1,703	3,086	68	4,773	3,459	7,563	49,165
H20	529,364	7,608	14,375	6,247	1,746	3,095	64	4,725	3,550	7,636	49,046
H21	533,416	7,669	14,104	6,183	1,738	3,091	68	4,733	3,583	7,671	48,840
H22	536,587	7,886	13,897	6,092	1,744	3,135	69	4,713	3,587	7,826	48,949
H23	535,759	7,788	13,704	6,023	1,742	3,120	66	4,672	3,536	7,852	48,503
H24	535,687	7,792	13,391	5,929	1,827	3,153	60	4,683	3,425	7,753	48,013
H25	537,375	7,876	13,997	5,961	1,928	3,126	60	4,776	3,597	8,205	49,526
H26	540,040	7,905	13,693	5,890	1,942	3,128	57	4,929	3,624	8,100	49,268

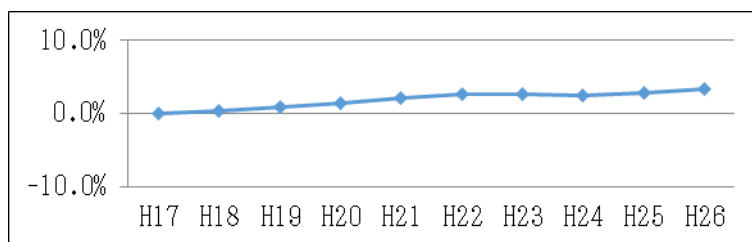
出典：住民基本台帳 (各年1月1日)

グラフ：高島平地域 人口推移



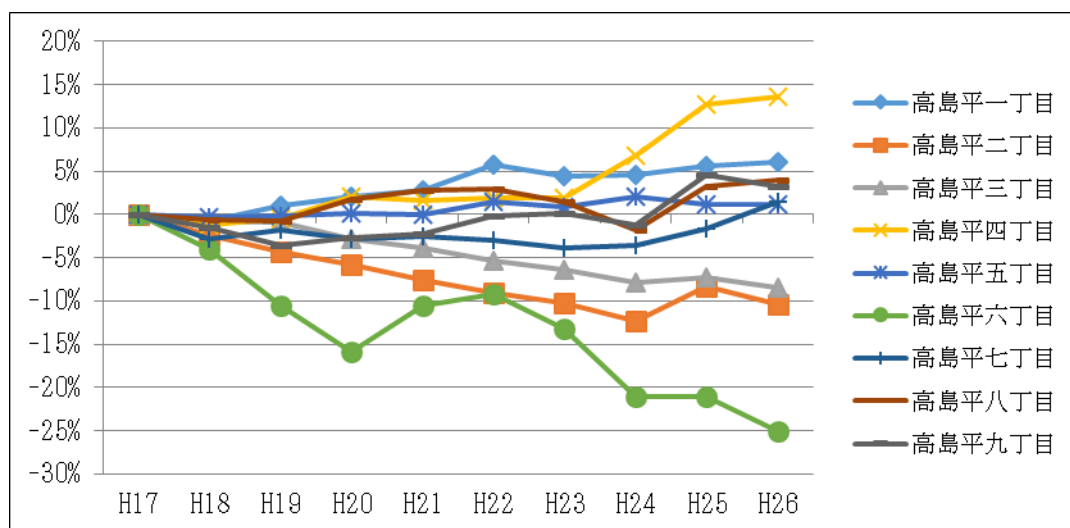
出典：住民基本台帳（各年1月1日）

グラフ：板橋区 人口対 H17 年増減比



出典：住民基本台帳（各年1月1日）

グラフ：高島平地域 人口対 H17 年増減比



出典：住民基本台帳（各年1月1日）

[年齢別人口]

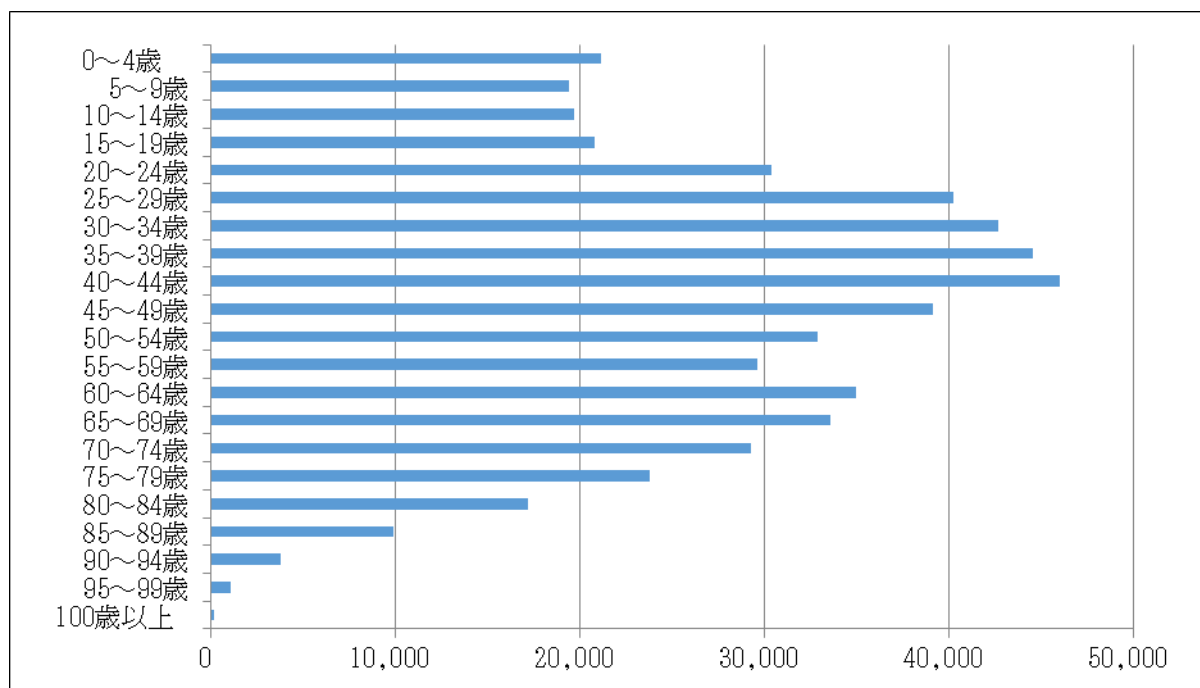
- ・板橋区では、25～44歳の人口が多くなっています。
- ・一方、高島平地域では、30～44歳の人口とともに60～74歳の人口が多くなっており、板橋区全体よりも高齢化率が高くなっています。

表：板橋区・高島平地域の年齢別人口

	板橋区	高島平地区
0～4歳	21,160	1,763
5～9歳	19,386	1,616
10～14歳	19,693	1,586
15～19歳	20,818	1,649
20～24歳	30,337	2,309
25～29歳	40,245	2,963
30～34歳	42,684	3,404
35～39歳	44,555	3,829
40～44歳	45,996	4,001
45～49歳	39,126	3,208
50～54歳	32,838	2,684
55～59歳	29,591	2,631
60～64歳	34,928	3,838
65～69歳	33,578	4,157
70～74歳	29,272	3,848
75～79歳	23,739	2,943
80～84歳	17,184	1,735
85～89歳	9,913	799
90～94歳	3,788	251
95～99歳	1,029	47
100歳以上	180	7

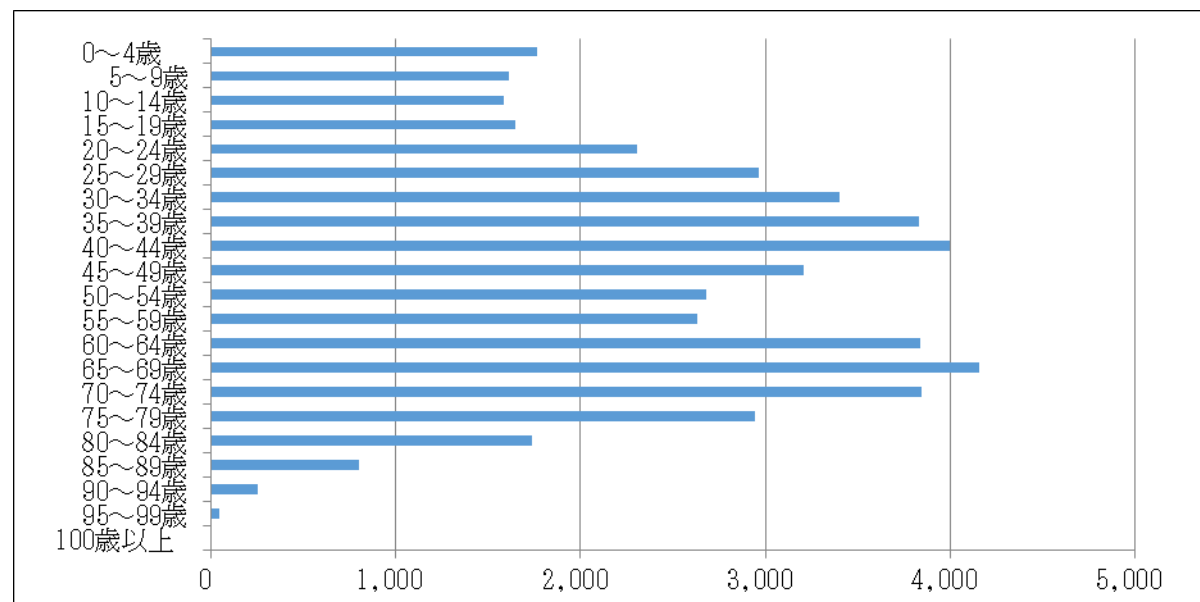
出典：住民基本台帳(H26.1.1)

グラフ：板橋区 年齢別人口



出典：住民基本台帳(H26.1.1)

グラフ：高島平地域 年齢別人口



出典：住民基本台帳 (H26.1.1)

- ・年齢 3 区分別人口割合をみると、年少人口割合は板橋区が約 11%、高島平地域は約 10%で、ともにほぼ横ばいとなっています。
- ・生産年齢人口割合は、板橋区及び高島平地域ともに減少傾向にありますが、高島平地域の方が約 2 倍のスピードで減少しています。
- ・老年人口割合は、板橋区及び高島平地域ともに増加傾向にあり、高島平地域の方がより増加率が高く、区全体より 2 倍のスピードで増加しています。また、全人口に占める割合も 28.0%で板橋区全体（22.4%）より高くなっています。

表：年齢 3 区分別人口割合

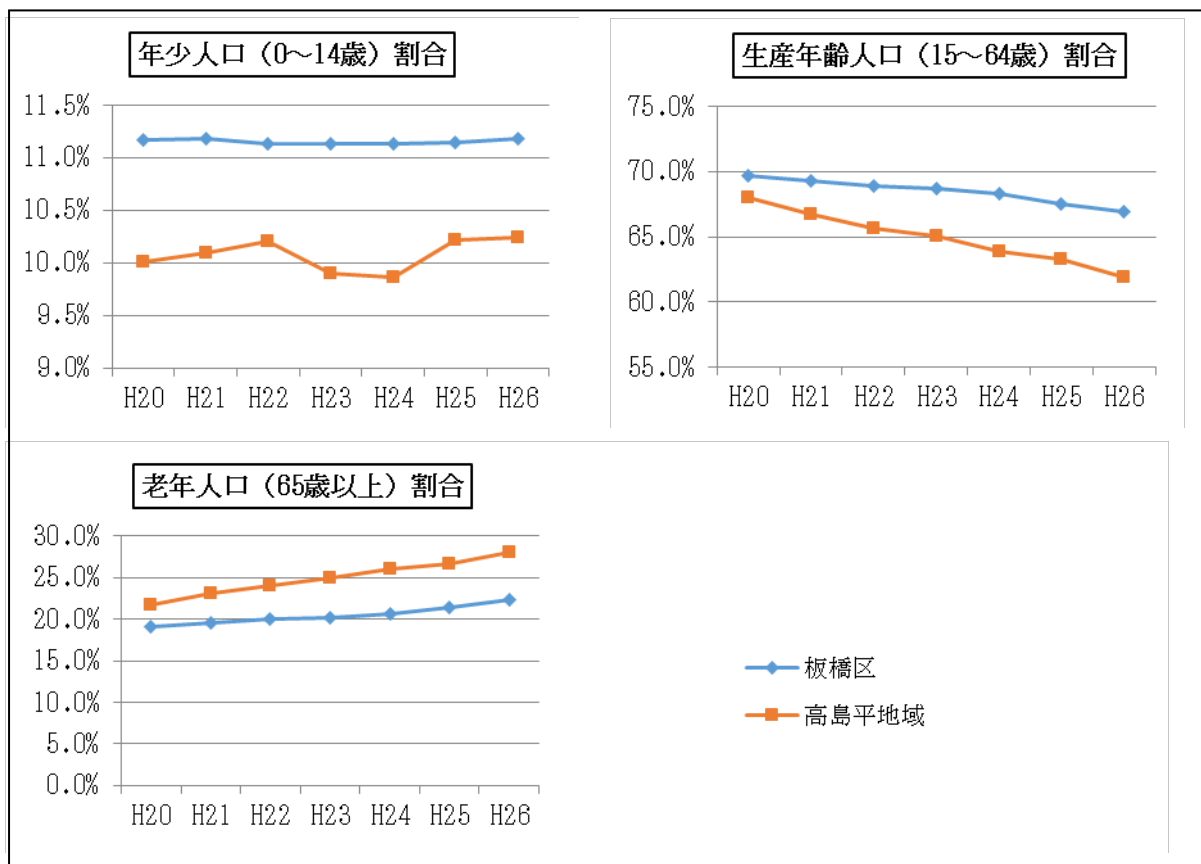
年少	板橋区	高島平地区
H20	11.2%	10.0%
H21	11.2%	10.1%
H22	11.1%	10.2%
H23	11.1%	9.9%
H24	11.1%	9.9%
H25	11.1%	10.2%
H26	11.2%	10.2%

生産年齢	板橋区	高島平地区
H20	69.7%	68.0%
H21	69.3%	66.7%
H22	68.9%	65.7%
H23	68.7%	65.1%
H24	68.3%	63.9%
H25	67.5%	63.3%
H26	66.9%	61.9%

高齢者	板橋区	高島平地区
H20	19.1%	21.7%
H21	19.6%	23.0%
H22	20.0%	24.1%
H23	20.2%	24.9%
H24	20.6%	26.1%
H25	21.3%	26.6%
H26	22.4%	28.0%

出典：住民基本台帳（各年 1 月 1 日）

グラフ：年齢 3 区分別人口割合



出典：住民基本台帳（各年 1 月 1 日）

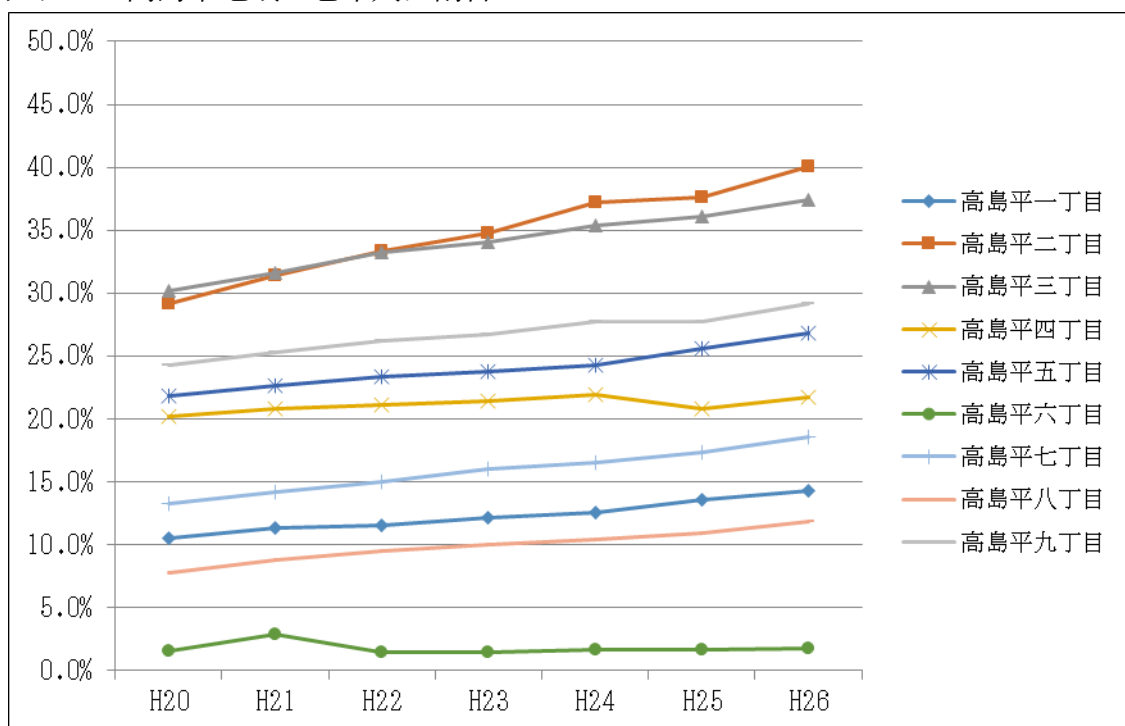
- ・町丁目別に老年人口割合をみると、高島平二丁目、三丁目では、約 40%を老年人口が占めており、高島平団地での高齢化が影響しています。
- ・都営西台アパートがある高島平九丁目も同様の傾向があり、老年人口割合が高くなっています。
- ・戸建て住宅が比較的多い、高島平四丁目、五丁目では、板橋区平均と同等の約 20%前後を老年人口が占めています。

表：高島平地域 老年人口割合

高齢者数	高島平1	高島平2	高島平3	高島平4	高島平5	高島平6	高島平7	高島平8	高島平9
H20	10.5%	29.1%	30.2%	20.2%	21.8%	1.6%	13.2%	7.8%	24.3%
H21	11.3%	31.5%	31.6%	20.8%	22.6%	2.9%	14.2%	8.8%	25.3%
H22	11.6%	33.4%	33.2%	21.2%	23.4%	1.4%	15.0%	9.5%	26.2%
H23	12.2%	34.8%	34.1%	21.5%	23.8%	1.5%	16.1%	10.0%	26.7%
H24	12.6%	37.2%	35.4%	21.9%	24.3%	1.7%	16.6%	10.5%	27.8%
H25	13.6%	37.6%	36.1%	20.8%	25.6%	1.7%	17.4%	10.9%	27.7%
H26	14.3%	40.1%	37.4%	21.7%	26.8%	1.8%	18.6%	11.8%	29.2%

出典：住民基本台帳（各年1月1日）

グラフ：高島平地域 老年人口割合



出典：住民基本台帳（各年1月1日）

[昼夜間人口]

- ・平成 22 年の国勢調査によると、板橋区の昼間人口は 493,747 人となり、夜間人口は 535,824 人、昼夜間人口比率は 92.1 となっています。
- ・一方、高島平地域では、昼間人口は 52,910 人となり、夜間人口は 50,193 人、昼夜間人口比率は 105.4 となっています。
- ・高島平地域の昼夜間人口比率は、流通業務団地を抱える高島平六丁目が 3,934.1 と最も高く、次いで大学や小・中学校のある高島平一丁目で 193.6、同じく小・中学校のある高島平四丁目で 117.3 の順となっています。
- ・昼夜間人口比率の推移をみると、板橋区ではほぼ横ばいですが、高島平地域においては、比率が上がってきており、昼間人口に比べて夜間人口が減少してきています。

表：昼夜間人口

昼間人口	H12	H17	H22
板橋区	470,917	456,425	493,747
高島平地域	50,973	50,016	52,910

夜間人口	H12	H17	H22
板橋区	512,459	507,799	535,824
高島平地域	52,844	49,142	50,193

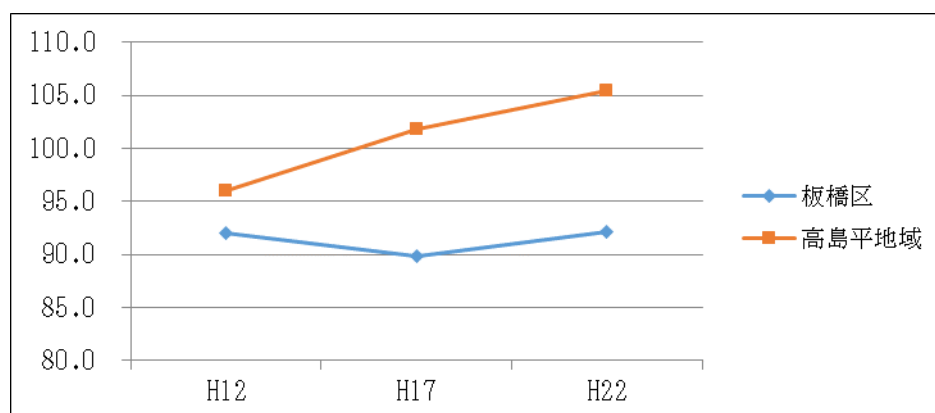
出典：国勢調査

表：町丁目別昼夜間人口比率

昼夜間人口比率	板橋区	高島平一丁目	高島平二丁目	高島平三丁目	高島平四丁目	高島平五丁目	高島平六丁目	高島平七丁目	高島平八丁目	高島平九丁目	高島平地域
H12	92.0	203.0	50.0	87.0	115.0	47.0	3,980.0	79.0	100.0	77.0	96.0
H17	89.9	204.3	58.8	88.2	111.1	53.7	3,957.1	83.3	101.2	86.4	101.8
H22	92.1	193.6	65.9	105.5	117.3	48.5	3,934.1	79.3	98.8	82.0	105.4

出典：国勢調査

グラフ：昼夜間人口比率



出典：国勢調査

(2)世帯

○現状（平成 26 年 1 月 1 日）

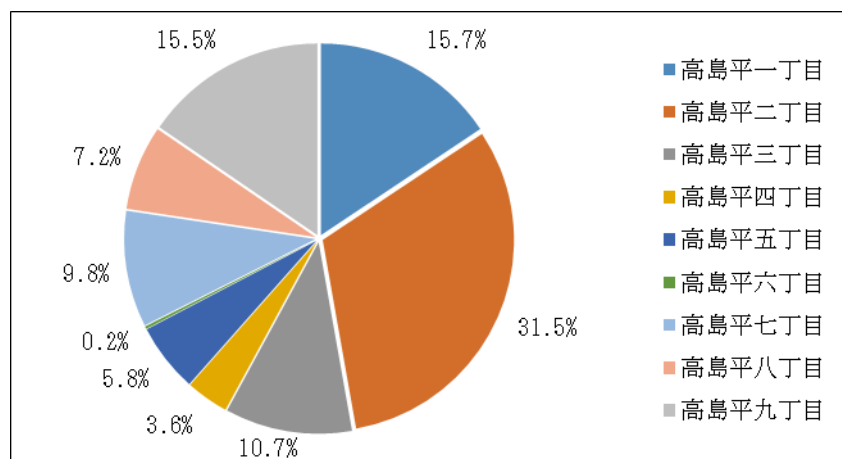
- ・住民基本台帳によると、平成 26 年 1 月現在、高島平地域の世帯数は 26,628 世帯であり、板橋区の世帯数の約 9.3%を占めています。
- ・町丁目別の世帯構成をみると、高島平二丁目の世帯数が 31.5%と最も多く、次いで高島平九丁目（15.5%）、高島平一丁目（15.7%）となっています。なお、高島平団地のある高島平二丁目、三丁目の世帯数は、地域の 40%超を占めています。
- ・町丁目別の世帯密度をみると、高島平団地の賃貸住宅部分である高島平二丁目突出して高く 182.6 世帯/ha、戸建て住宅が中心の高島平四丁目、五丁目は低くなっています。

表：高島平地域の世帯数

世帯数	板橋区	高島平一丁目	高島平二丁目	高島平三丁目	高島平四丁目	高島平五丁目	高島平六丁目	高島平七丁目	高島平八丁目	高島平九丁目	高島平地域
H26	285,352	4,170	8,398	2,861	961	1,543	57	2,612	1,905	4,121	26628
対地域割合	-	15.7%	31.5%	10.7%	3.6%	5.8%	0.2%	9.8%	7.2%	15.5%	100.0%

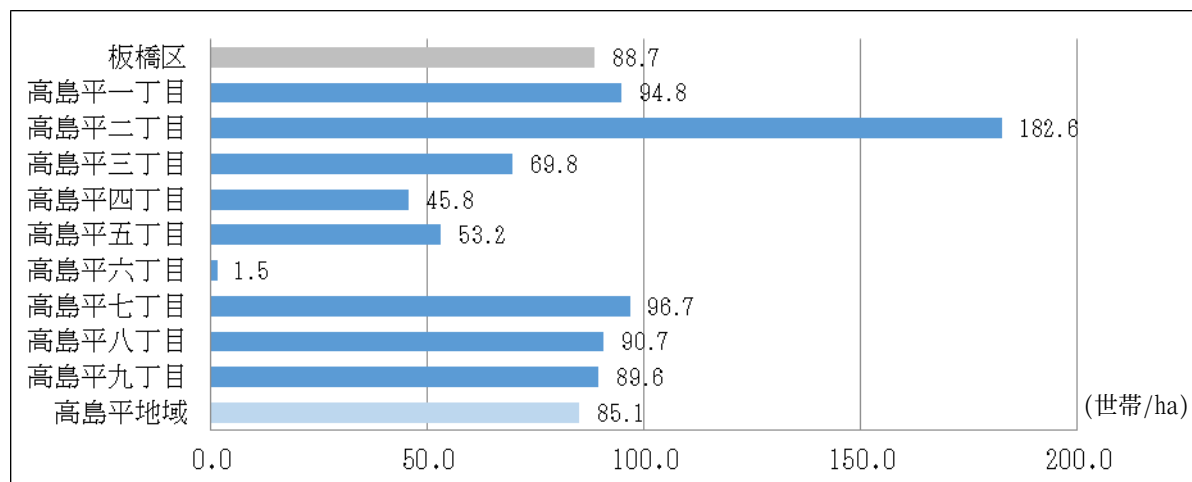
出典：住民基本台帳（H26.1.1）

グラフ：高島平地域 世帯数構成



出典：住民基本台帳（H26.1.1）

グラフ：世帯密度



出典：住民基本台帳（H26.1.1）

〔世帯数推移〕

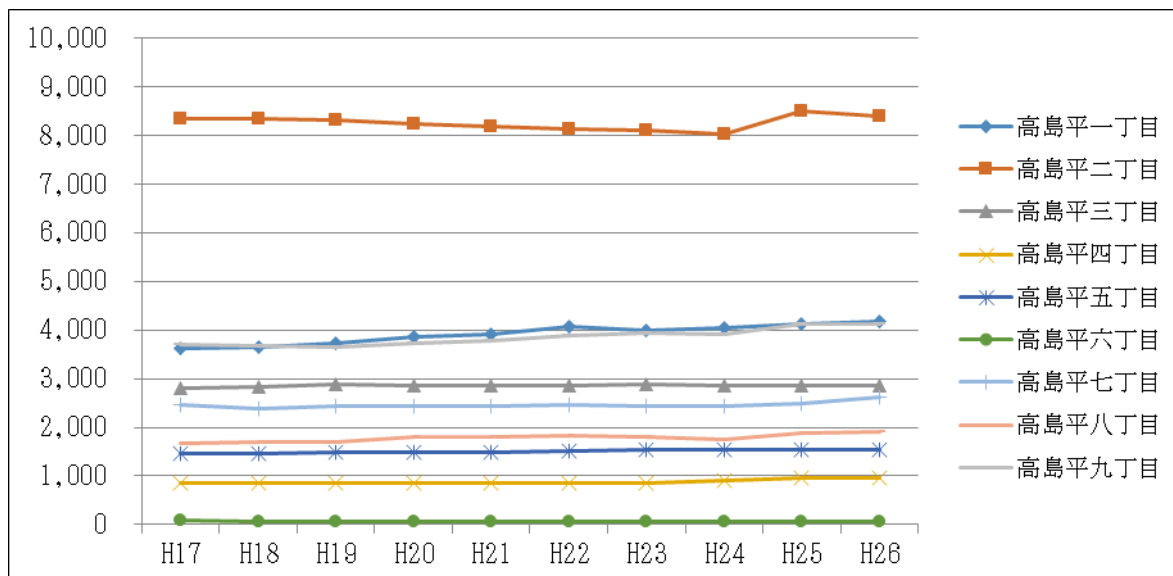
- ・近年、板橋区全体及び高島平地域における世帯数は、ともに微増傾向にあります。
- ・各年の対平成17年の世帯数増減比をみると、板橋区全体では約10%増加し、高島平地域では、高島平団地のある高島平二丁目、三丁目は横ばいとなっており、流通業務団地のある高島平六丁目では減少しています。その他の町丁目については増加傾向にあり、高島平一丁目では約15%増加しています。

表：高島平地域の世帯数推移

世帯	板橋区	高島平一丁目	高島平二丁目	高島平三丁目	高島平四丁目	高島平五丁目	高島平六丁目	高島平七丁目	高島平八丁目	高島平九丁目	高島平地域
H17	259,470	3,616	8,360	2,813	849	1,468	76	2,451	1,682	3,690	25,005
H18	261,746	3,641	8,341	2,839	842	1,465	73	2,385	1,684	3,683	24,953
H19	265,073	3,732	8,315	2,888	842	1,483	68	2,443	1,701	3,657	25,129
H20	269,221	3,855	8,245	2,847	859	1,498	64	2,429	1,793	3,721	25,311
H21	273,602	3,908	8,178	2,869	844	1,496	68	2,447	1,815	3,782	25,407
H22	276,924	4,068	8,149	2,863	861	1,512	69	2,458	1,834	3,889	25,703
H23	277,569	4,005	8,118	2,876	860	1,530	66	2,443	1,801	3,950	25,649
H24	278,194	4,038	8,035	2,855	901	1,547	60	2,445	1,744	3,920	25,545
H25	279,772	4,131	8,496	2,860	955	1,549	60	2,492	1,881	4,125	26,549
H26	285,352	4,170	8,398	2,861	961	1,543	57	2,612	1,905	4,121	26,628

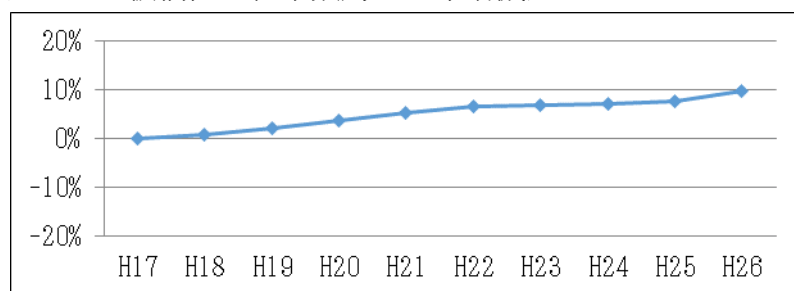
出典：住民基本台帳（各年1月1日）

グラフ：高島平地域 世帯数推移



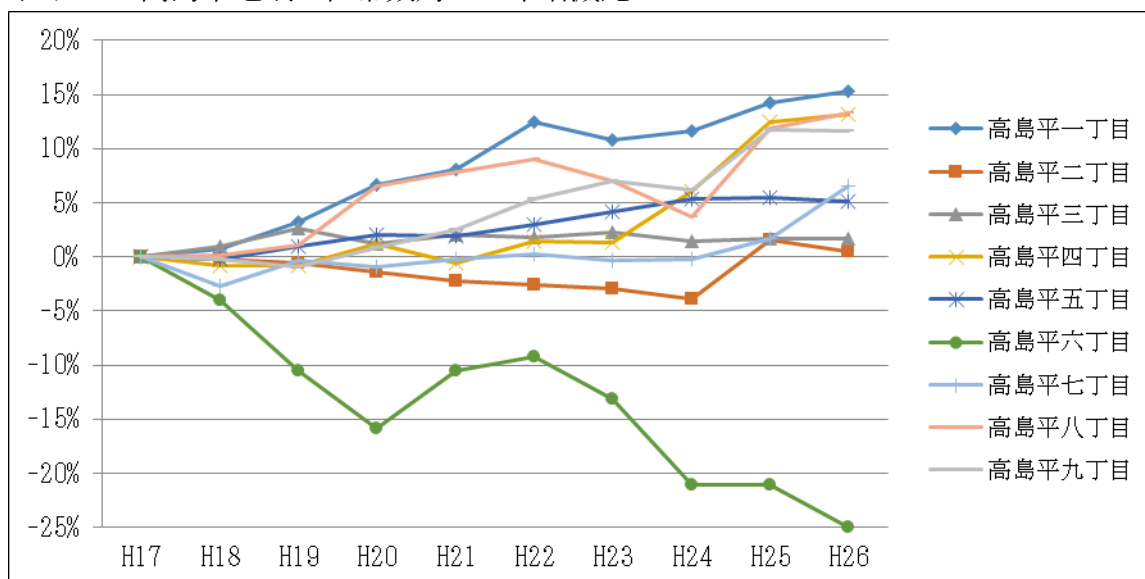
出典：住民基本台帳

グラフ：板橋区 世帯数対 H17 年増減比



出典：住民基本台帳

グラフ：高島平地域 世帯数対 H17 年増減比



出典：住民基本台帳

[世帯構成]

- ・平成 22 年の国勢調査によると、板橋区及び高島平地域の世帯構成は、単独世帯が最も多く、約半数を占めています。
- ・約半数を占める単独世帯の推移を見ると、板橋区及び高島平地域の世帯割合は、上昇傾向にあります。
- ・単独世帯のうち、高齢単身世帯に着目してみると、平成 22 年、板橋区では単独世帯のうち高齢者が占める割合は 10.9%、高島平地域においては 14.0%を占めています。

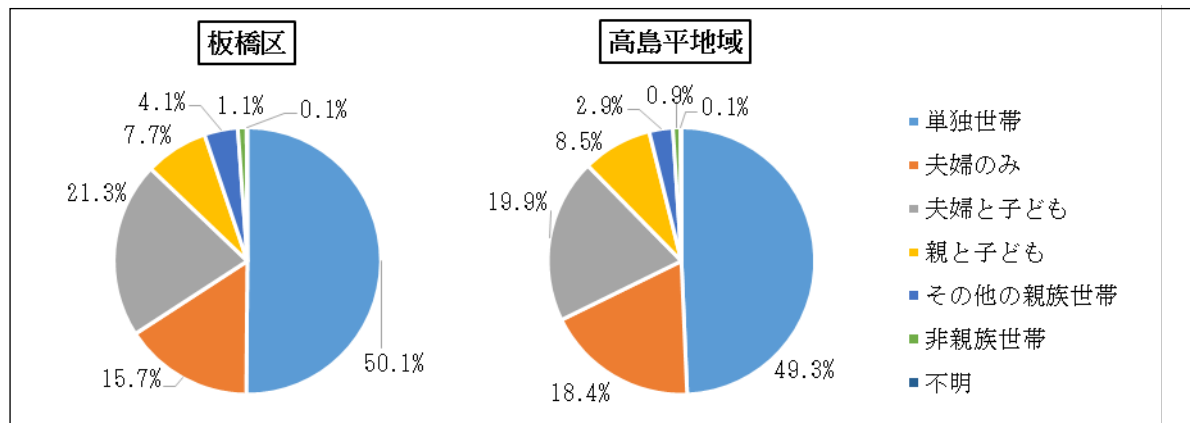
表：世帯構成（国勢調査）

板橋区	H12	H17	H22
世帯総数	239,049	238,666	272,420
親族世帯	131,758	133,008	132,703
核家族世帯	118,146	120,186	121,665
夫婦のみ	38,863	41,098	42,769
うち高齢夫婦	15,310	17,720	19,554
夫婦と子供	61,324	59,442	58,030
男親と子供	2,888	3,060	3,213
うち父子世帯	395	380	284
女親と子供	15,071	16,586	17,653
うち母子世帯	2,963	3,211	2,502
その他の親族世帯	13,612	12,822	11,038
非親族世帯	1,851	2,104	2,920
単独世帯	105,440	103,554	136,573
うち高齢単身世帯	19,432	23,193	29,665

高島平地域	H12	H17	H22
世帯総数	24,678	24,121	26,527
親族世帯	14,516	13,673	13,173
核家族世帯	13,685	12,896	12,414
夫婦のみ	4,443	4,752	4,888
うち高齢夫婦	1,420	2,044	2,506
夫婦と子供	7,168	5,975	5,284
男親と子供	345	338	362
うち父子世帯	46	33	29
女親と子供	1,729	1,831	1,880
うち母子世帯	376	388	283
その他の親族世帯	831	777	759
非親族世帯	155	154	248
単独世帯	10,007	10,294	13,080
うち高齢単身世帯	1,872	2,679	3,719

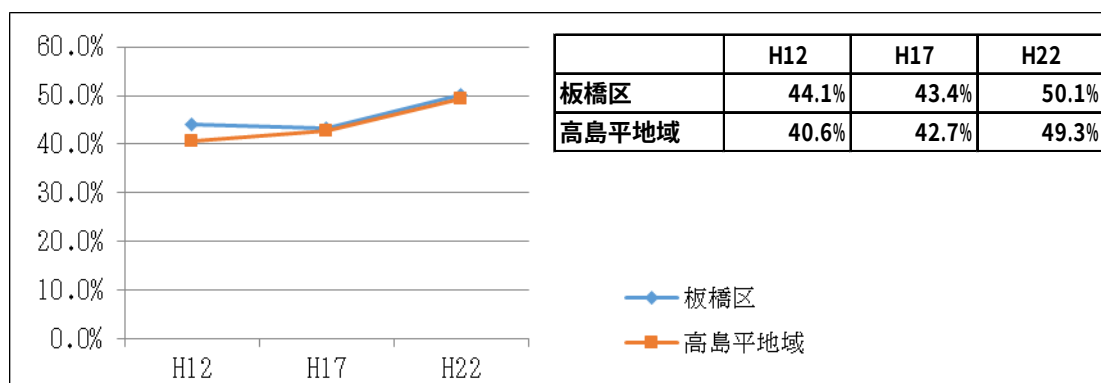
出典：国勢調査

グラフ：世帯構成



出典：国勢調査

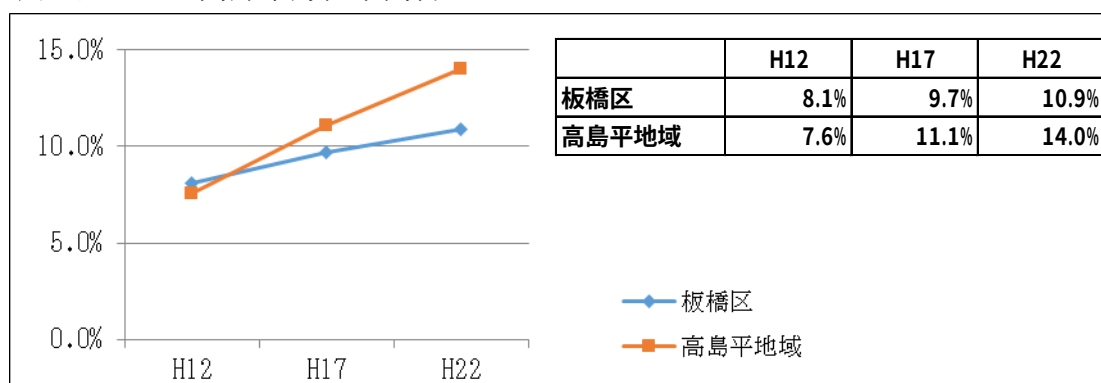
表・グラフ：単独世帯割合



出典：国勢調査

- ・平成 12 年からの全世帯数に占める高齢単身世帯割合をみると、板橋区及び高島平地域においてともに上昇しており、特に高島平地域において高齢単身世帯の増加が目立ちます。
- ・町丁目別にみても、全体的に増加傾向となっています。特に高島平二丁目においては増加率、全世帯に占める割合ともに高くなっています。

表・グラフ：高齢単身世帯割合



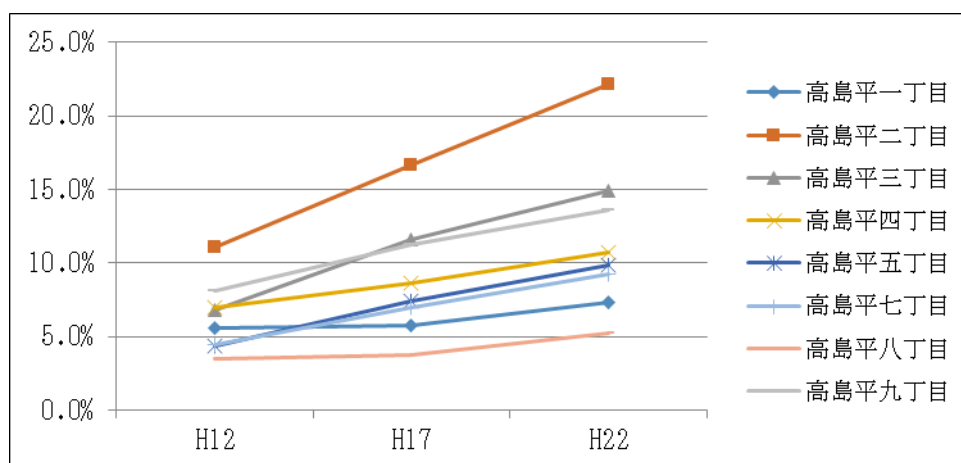
出典：国勢調査

表：高島平地域 高齢単身世帯割合

高齢者単身世帯割合	高島平1	高島平2	高島平3	高島平4	高島平5	高島平6	高島平7	高島平8	高島平9
H12	5.6%	11.1%	6.8%	7.0%	4.3%	1.0%	4.5%	3.5%	8.1%
H17	5.8%	16.7%	11.6%	8.7%	7.4%	0.0%	7.0%	3.7%	11.3%
H22	7.4%	22.2%	14.9%	10.8%	9.9%	0.0%	9.3%	5.2%	13.6%

出典：国勢調査

グラフ：高島平地域 高齢単身世帯割合



出典：国勢調査（高島平六丁目は高齢単身世帯が居住していないため記載なし）

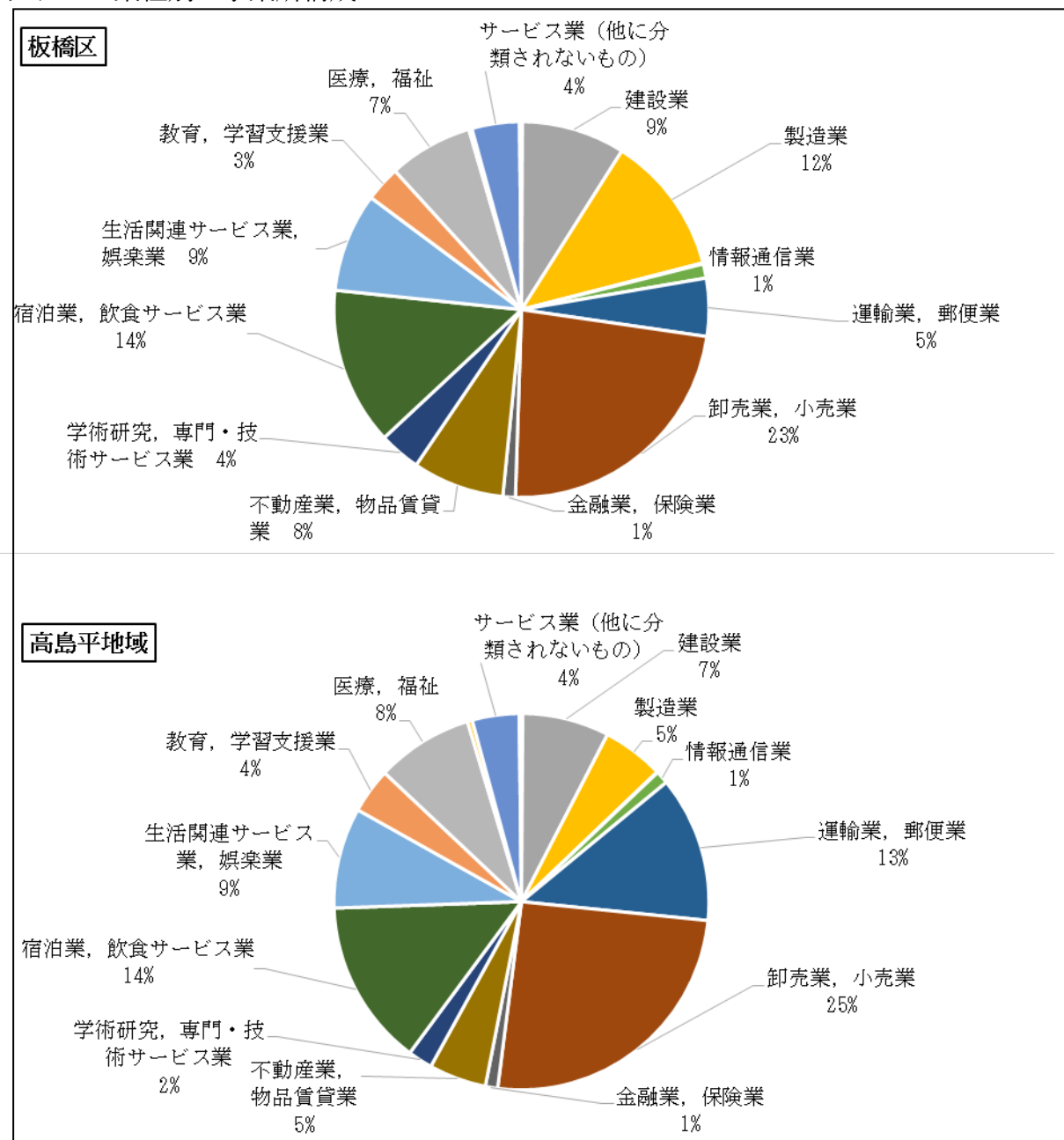
2 産業

(1)事業所

[事業所数]

- ・平成 21 年経済センサスでは、板橋区の事業所数は 21,062 事業所、高島平地域では 1,699 事業所となっています。
- ・板橋区及び高島平地域の業種別の事業所構成を見ると、「卸売・小売業」が最も多く、次いで「宿泊・飲食サービス業」となっています。
- ・3 番目に多い業種が板橋区全体では製造業になりますが、高島平地域では「運輸・郵便業」となっており、板橋区 5%に対して 13%となっています。

グラフ：業種別の事業所構成



出典：平成 21 年経済センサス

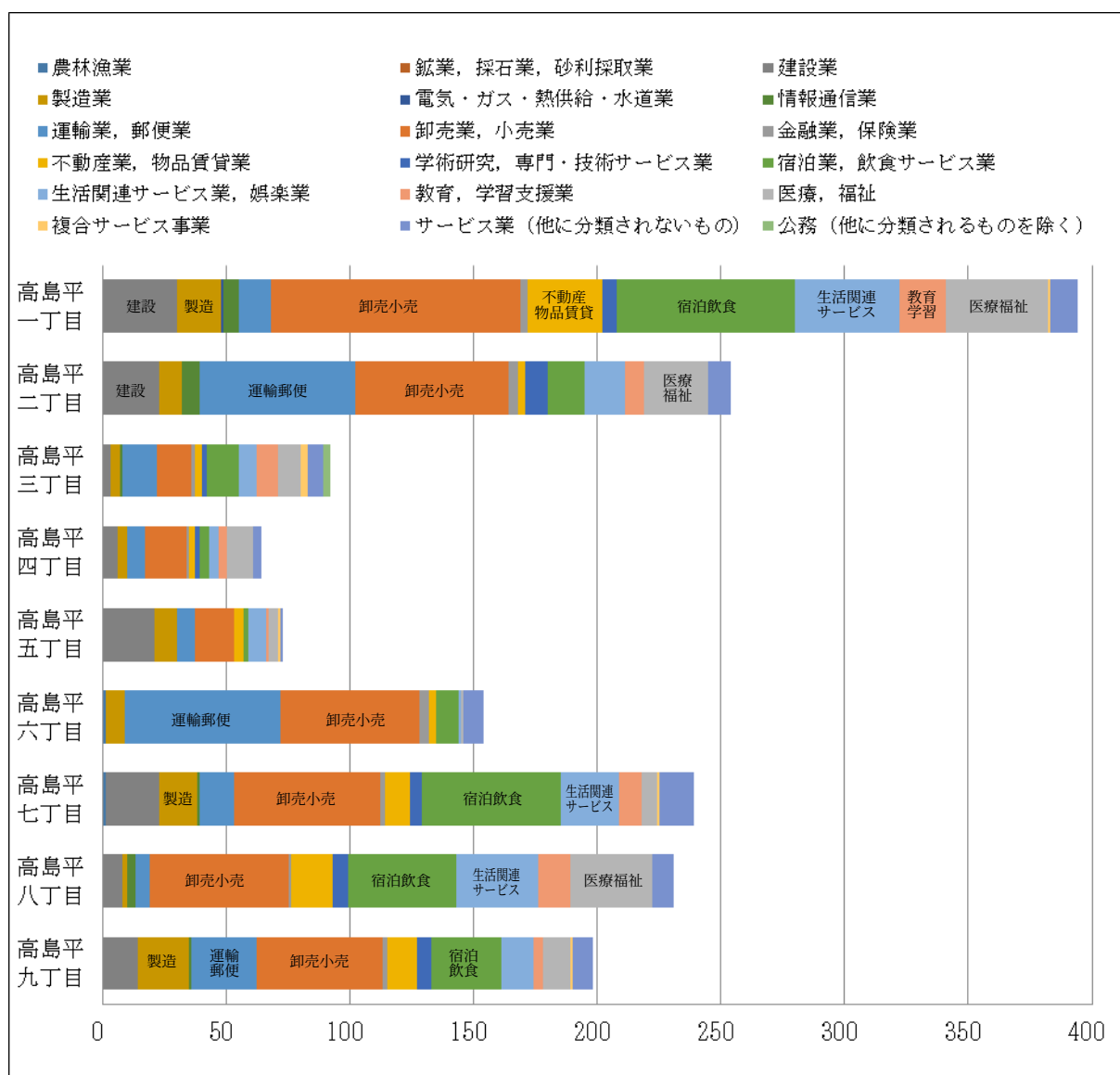
表：業種別の事業所数

業種別事業所数	板橋区	高島平 一丁目	高島平 二丁目	高島平 三丁目	高島平 四丁目	高島平 五丁目	高島平 六丁目	高島平 七丁目	高島平 八丁目	高島平 九丁目	高島平 地域
農林漁業	16	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
鉱業、採石業、砂利採取業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	1,877	30	23	3	6	21	0	22	8	14	127
製造業	2,528	18	9	4	4	9	8	15	2	21	90
電気・ガス・熱供給・水道業	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
情報通信業	258	6	7	1	0	0	0	1	3	1	19
運輸業、郵便業	1,050	13	63	14	7	7	63	14	6	26	213
卸売業、小売業	4,890	101	62	14	17	16	56	59	56	51	432
金融業、保険業	227	3	4	1	1	0	4	2	1	2	18
不動産業、物品賃貸業	1,665	30	3	3	2	4	3	10	17	12	84
学術研究、専門・技術サービス業	753	6	9	2	2	0	0	5	6	6	36
宿泊業、飲食サービス業	2,861	72	15	13	4	2	9	56	44	28	243
生活関連サービス業、娯楽業	1,793	42	16	7	4	7	1	24	33	13	147
教育、学習支援業	644	19	8	9	3	1	0	9	13	4	66
医療、福祉	1,526	41	26	9	11	4	1	6	33	11	142
複合サービス事業	56	1	0	3	0	1	0	1	0	1	7
サービス業（他に分類されないもの）	865	11	9	6	3	1	8	14	9	8	69
公務（他に分類されるものを除く）	33	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
計	21,062	394	254	92	64	73	154	239	231	198	1,699

出典：平成 21 年経済センサス

- ・事業所数を町丁目別にみると、高島平一丁目が最も多く、394 事業所で、次いで高島平二丁目が 254 事業所、高島平七丁目が 239 事業所、高島平八丁目が 231 事業所となっています。
- ・高島平三丁目～五丁目は事業所の立地が少なく、いずれも 100 以下となっています。

グラフ：高島平地域 業種別事業所数

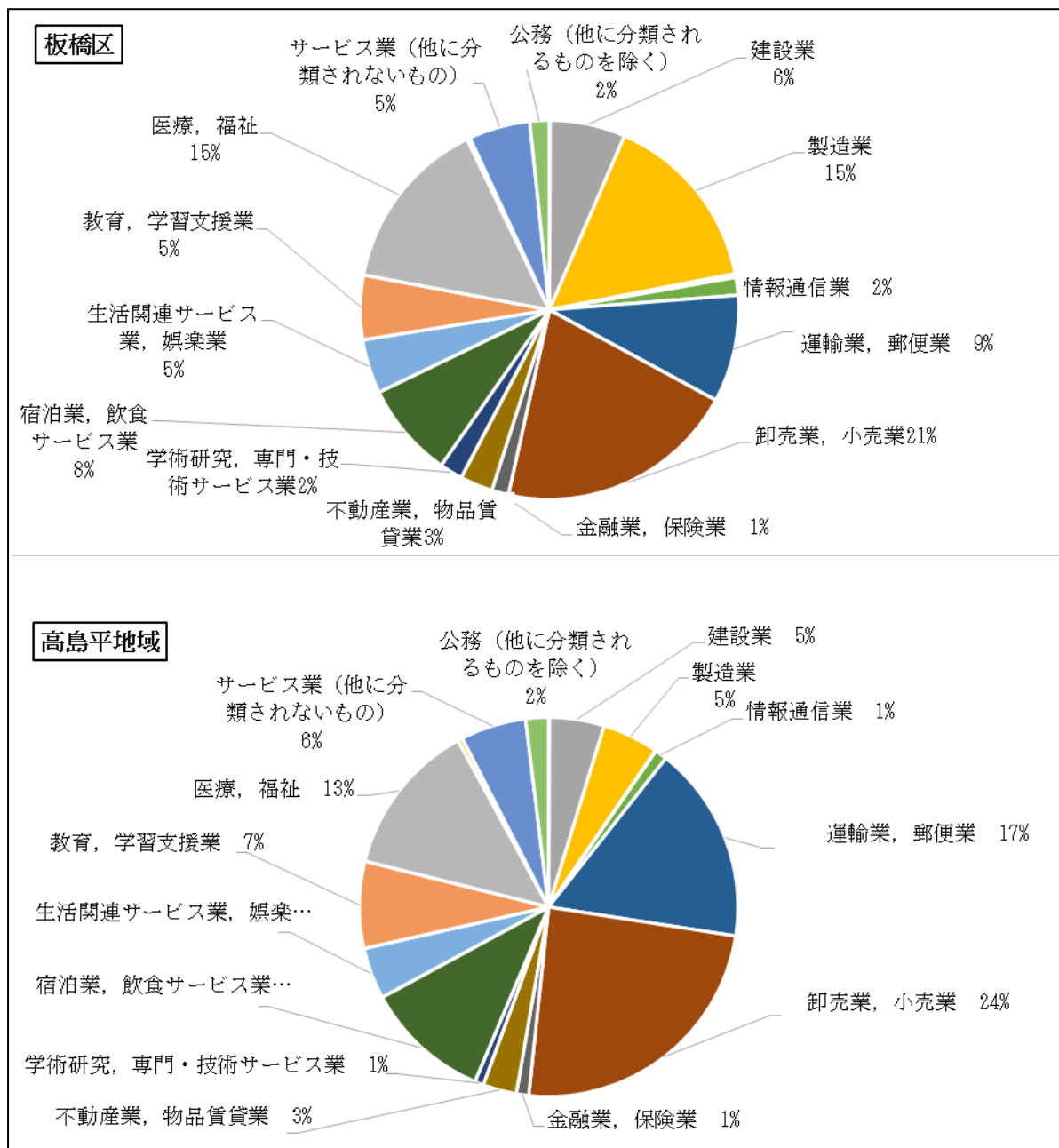


出典：平成 21 年経済センサス

[従業者数]

- ・平成 21 年経済センサスでは、板橋区の従業者数は 212,996 人、高島平地域では 20,471 人となっています。
- ・板橋区及び高島平地域の業種別の従業者数の構成を見ると、「卸売・小売業」が最も多くなっています。板橋区では、次いで「製造業」が多く、高島平地域では、流通業務団地があるため、「運輸・郵便業」となっています。

グラフ：従業者数



出典：平成 21 年経済センサス

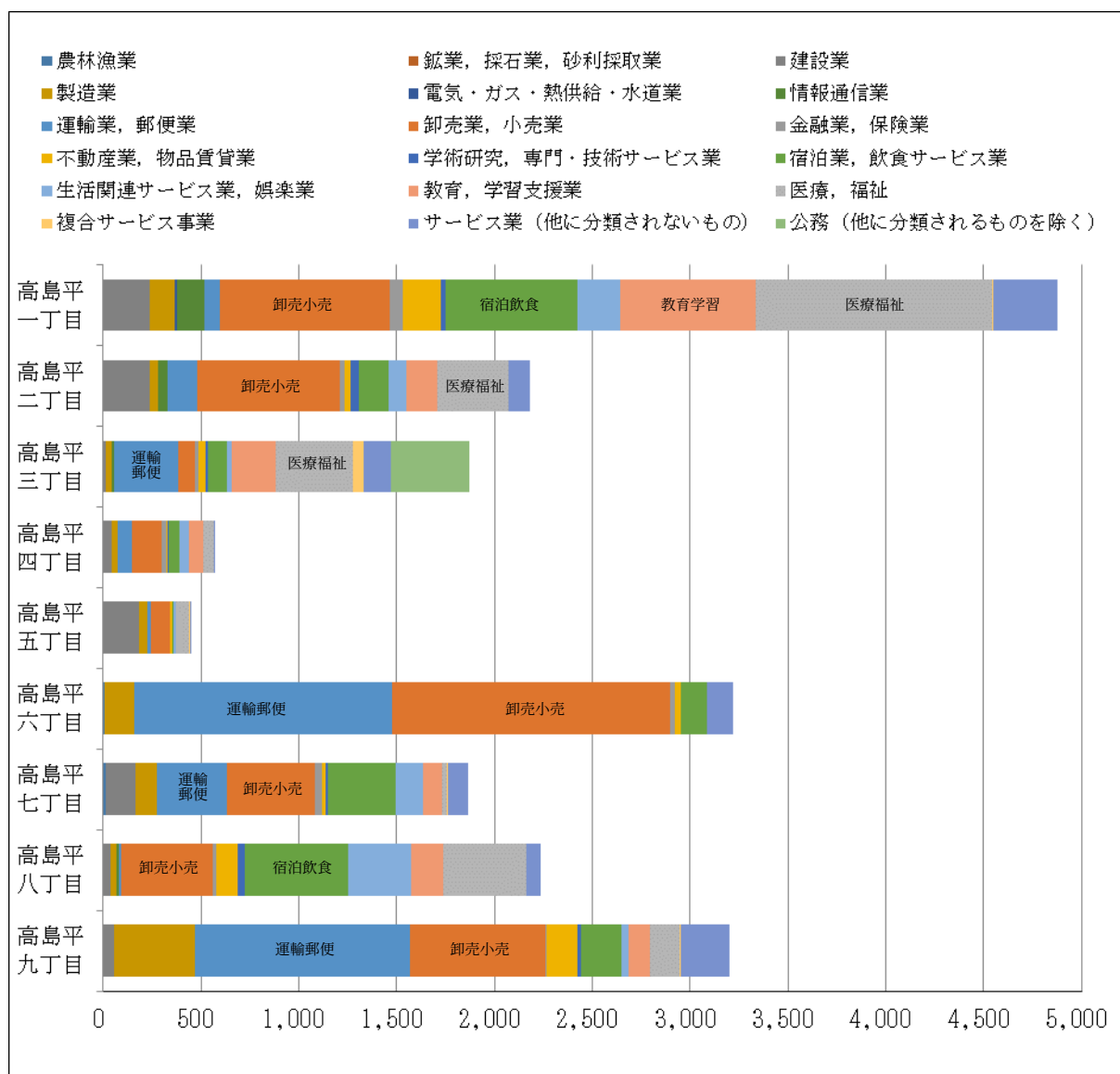
表：業種別の従業者数

業種別従業者数	板橋区	高島平 一丁目	高島平 二丁目	高島平 三丁目	高島平 四丁目	高島平 五丁目	高島平 六丁目	高島平 七丁目	高島平 八丁目	高島平 九丁目	高島平 地域
農林漁業	102	0	0	0	0	0	4	12	0	0	16
鉱業、採石業、砂利採取業	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	13,721	240	236	14	41	182	0	152	37	56	958
製造業	32,906	125	44	31	34	44	153	109	31	414	985
電気・ガス・熱供給・水道業	645	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9
情報通信業	3,221	141	50	9	0	0	0	2	9	1	212
運輸業、郵便業	19,454	82	150	330	71	18	1,322	356	14	1,096	3,439
卸売業、小売業	43,860	866	731	84	150	99	1,415	453	471	691	4,960
金融業、保険業	3,057	70	20	21	27	0	26	31	16	6	217
不動産業、物品賃貸業	5,968	193	34	32	6	7	29	22	106	160	589
学術研究、専門・技術サービス業	4,197	26	44	14	4	0	0	12	38	17	155
宿泊業、飲食サービス業	17,356	669	147	99	59	6	134	344	532	206	2,196
生活関連サービス業、娯楽業	9,835	221	93	25	47	14	2	142	317	36	897
教育、学習支援業	11,681	692	155	223	73	1	0	94	169	109	1,516
医療、福祉	31,675	1,206	367	393	51	68	3	28	424	155	2,695
複合サービス事業	571	8	0	57	0	5	0	6	0	6	82
サービス業（他に分類されないもの）	11,185	328	108	138	9	5	132	103	73	250	1,146
公務（他に分類されるものを除く）	3,532	0	0	399	0	0	0	0	0	0	399
計	212,996	4,876	2,179	1,869	572	449	3,220	1,866	2,237	3,203	20,471

出典：平成 21 年経済センサス

- ・従業者数を町丁目別にみると、事業所数同様に高島平一丁目が多く、4,876人となっており、そのうち「医療・福祉」の従業者が最も多く1,206人、24.7%を占めています。
- ・高島平地域は全域で「卸売・小売業」の従業者が多く、加えて、高島平一丁目～三丁目では「医療・福祉」や「教育」が多く、高島平五丁目～九丁目では「運輸・郵便業」や「建設業」が多くなっています。

グラフ：業種別従業者数



出典：平成 21 年経済センサス

(2)商業

[事業所数(次頁の表参照)]

- ・商業統計調査からは、平成14年から19年の5年間で、板橋区全体の卸売・小売業の事業所は10%以上減少していますが、高島平地域でも減少は多くなっています。
- ・卸売・小売業の事業所数を町丁目別にみると、卸売業に関しては、高島平二丁目、五丁目、七丁目、九丁目は増加しており、特に高島平九丁目は30%強増加している一方、高島平三丁目、四丁目では半減しています。
- ・小売業に関しては、高島平一丁目、九丁目は増加していますが、その他の町丁目では減少しています。

[従業者数(次頁の表参照)]

- ・卸売・小売業の従業者数も事業所数と同様に減少傾向にあります。高島平地域の特徴は、小売等の従業者数が減少していることです。
- ・卸売・小売業の従業者数を町丁目別にみると、卸売業は、高島平二丁目～四丁目、六丁目は減少しており、その他の町丁目別では増加しています。
- ・小売業に関しては、高島平五丁目、六丁目の減少率が目立っています。

[年間販売額(次頁の表参照)]

- ・卸売・小売業の年間販売額は、板橋区では微増となっていますが、高島平地域では卸売について微減、小売業は微増となっています。
- ・卸売・小売業の年間販売額を町丁目別にみると、卸売業に関しては、高島平二丁目、六丁目を除いては増加していますが、最も規模の大きい高島平六丁目の販売額が減少していることから高島平地域全体を押し下げています。
- ・小売業は、高島平五丁目で約70%減と、大きくなっています。

[売場面積(小売業) (次頁の表参照)]

- ・板橋区及び高島平地域の小売業の売場面積については、ともに微増となっています。
- ・しかし、小売業の売場面積を町丁目別にみると高島平六丁目が約60%減少しています。

表：卸売業の動向 ※赤字は減少を示す

卸売	事業所数			従業者数			年間販売額(百万円)		
	H14	H19	対H14比	H14	H19	対H14比	H14	H19	対H14比
板橋区	1,299	1,144	88.1%	13,529	12,014	88.8%	895,564	999,513	111.6%
高島平一丁目	21	18	85.7%	163	191	117.2%	8,680	14,543	167.5%
高島平二丁目	12	14	116.7%	136	110	80.9%	4,628	4,453	96.2%
高島平三丁目	2	1	50.0%	20	10	50.0%	0	0	-
高島平四丁目	7	4	57.1%	58	39	67.2%	0	0	-
高島平五丁目	11	12	109.1%	92	96	104.3%	3,233	3,324	102.8%
高島平六丁目	54	48	88.9%	942	766	81.3%	87,597	73,246	83.6%
高島平七丁目	11	12	109.1%	70	77	110.0%	2,383	3,906	163.9%
高島平八丁目	10	9	90.0%	41	74	180.5%	2,138	2,596	121.4%
高島平九丁目	15	20	133.3%	207	269	130.0%	9,705	10,587	109.1%
高島平地域	143	138	96.5%	1,729	1,632	94.4%	122,478	120,644	98.5%

出典：商業統計

表：小売業の動向 ※赤字は減少を示す

小売	事業所数			従業者数			年間販売額(百万円)			売場面積		
	H14	H19	対H14比	H14	H19	対H14比	H14	H19	対H14比	H14	H19	対H14比
板橋区	3,957	3,436	86.8%	24,772	23,607	95.3%	403,715	410,929	101.8%	326,087	351,624	107.8%
高島平一丁目	75	80	106.7%	748	595	79.5%	10,374	10,064	97.0%	6,537	7,173	109.7%
高島平二丁目	58	52	89.7%	548	577	105.3%	10,581	10,981	103.8%	8,194	8,798	107.4%
高島平三丁目	10	9	90.0%	46	50	108.7%	0	681	-	0	459	-
高島平四丁目	10	8	80.0%	106	78	73.6%	0	1,385	-	0	821	-
高島平五丁目	8	6	75.0%	35	20	57.1%	493	149	30.2%	340	338	99.4%
高島平六丁目	7	5	71.4%	44	23	52.3%	613	1,312	214.0%	199	85	42.7%
高島平七丁目	40	35	87.5%	308	344	111.7%	4,598	4,413	96.0%	3,416	3,356	98.2%
高島平八丁目	48	47	97.9%	414	379	91.5%	6,436	6,746	104.8%	4,663	4,955	106.3%
高島平九丁目	26	29	111.5%	307	352	114.7%	7,604	7,137	93.9%	9,398	9,357	99.6%
高島平地域	282	271	96.1%	2,556	2,418	94.6%	42,626	42,868	100.6%	33,720	35,342	104.8%

出典：商業統計

(3) 商店街・大規模店舗

- ・高島平地域の商店街は、駅前を中心に立地しています。
- ・西台駅は、南側の駅前にメトロード西台商店会、高島平一丁目に高一中央通り商店会が立地しています。
- ・高島平駅周辺では、北側には飲食店を中心とした店舗が集積している高島平商店会が、南側には、高島平団地内に高島平中央商店街などがあります。
- ・大規模店舗の立地状況は、高島平駅周辺にダイソー、東武ストア、ピーコックスストア（旧松坂屋）、東急ストア、ケーヨーデイツーがあります。なお、ケーヨーデイツー以外はスーパーマーケットです。

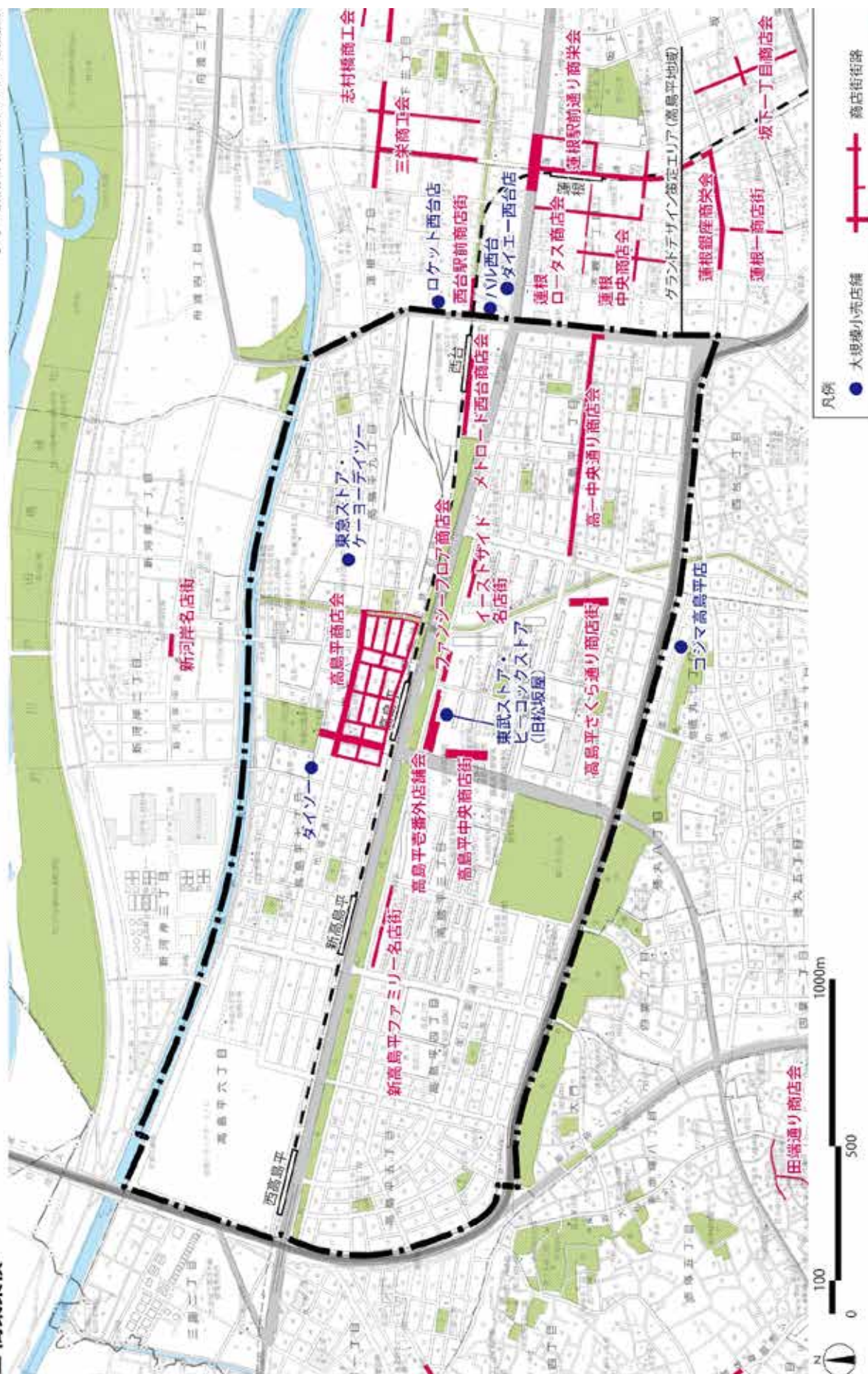
(4) 区の産業支援施設

- ・高島平地域には、区立の産業支援施設は立地していません。地域の北側と東側、新河岸川沿岸に製造業を中心とする集積があり、舟渡一丁目、二丁目に3つの支援施設が立地しています。

大規模店舗：大規模小売店舗立地法で定める、その建物内の店舗面積の合計が基準面積（1,000 ㎡）を超えるもの

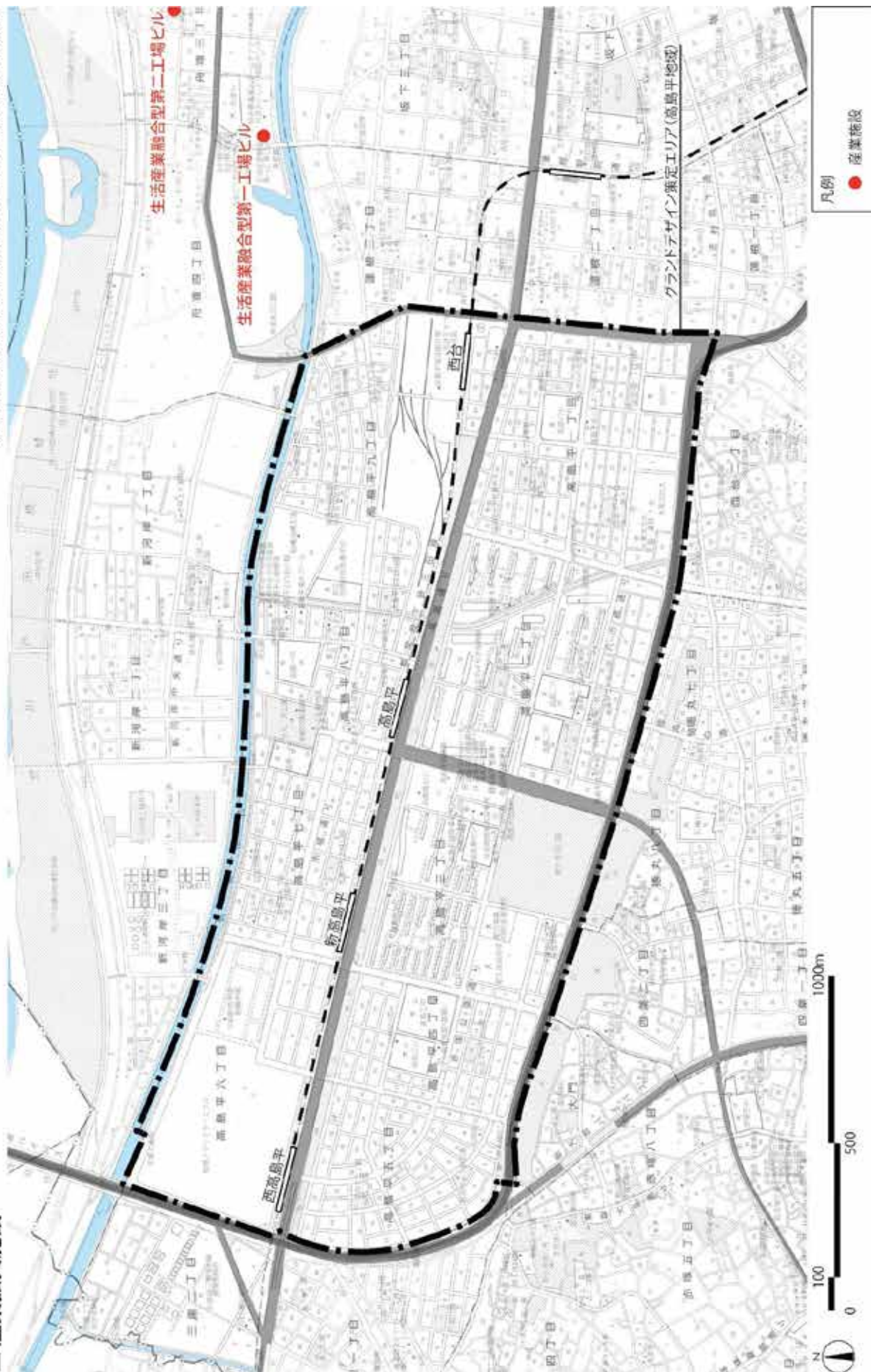
商業集積

参考：板橋区商業集積マップ（板橋区）



産業振興施設

参考：公共施設等の整備に関するマスタープラン（平成25年5月・板橋区）



3 用途地域等の指定

- ・高島平一丁目～三丁目、八丁目は、おおむね第一種中高層住居専用地域・建ぺい率 60%/容積率 200%、高島平四丁目、五丁目は、第一種低層住居専用地域・建ぺい率 50%/容積率 100%、となっており、住宅系の用途地域が大半を占めています。
- ・流通業務団地のある高島平六丁目と、板橋清掃工場や志村操車場のある高島平九丁目は、準工業地域の指定となっています。
- ・そのほか、高島通り沿道や首都高速 5 号線沿道を中心とした部分が準住居地域（60%/300%）、高島平五丁目西側の首都高速 5 号線沿道は第一種住居地域（60%/200%）の指定となっており、住居系の指定の中でも許容する建物用途の幅が広がられています。
- ・また、高島平駅周辺及び西台駅周辺は商業地域の指定となっており、地域内で、この 2 箇所のみが建ぺい率 80%の指定、容積率に関しても西台駅周辺では 400%、高島平駅周辺では 500%と、その他の地域で 300%以下の指定を踏まえると、この 2 箇所では比較的密度の高い建築を許容しています。
- ・なお、高島平六丁目全域（西高島平北側）は、流通業務地区（都市計画法第 8 条第 1 項第 13 号）に定められており、建築基準法の用途規制ではなく、「流通業務市街地の整備に関する法律」に定められた施設以外は建築できません。また、同じ範囲が流通業務団地（都市計画法第 11 条 1 項 10 号）として都市施設に位置づけられています。さらに、そのうち、自動車ターミナル（都市計画法第 11 条 1 項 1 号）と市場（都市計画法第 11 条 1 項 7 号）も都市施設として位置づけられています。

表：流通業務地区内の規制

規制の内容（流通業務市街地の整備に関する法律第 5 条）
次に掲げる施設以外の施設を建築してはならず、又、施設を改築し、又はその用途を変更して、次の各号の一に該当する施設以外の施設としてはならない。 (1) トラックターミナル、鉄道の貨物駅その他貨物の積卸しのための施設 (2) 卸売市場 (3) 倉庫、野積場、貯蔵槽又は貯木場 (4) 上屋又は荷捌き場 (5) 道路貨物運送業、貨物運送取扱業、倉庫業又は卸売業の用に供する事務所、店舗 (6) 前号に掲げる事業以外の事業を営む者が、流通業務の用に供する事務所 (7) 金属板、金属線又は紙の切断、木材の引割りその他物資の流通の過程における簡易な加工の事業で政令で定めるものの用に供する工場 (8) 製氷又は冷凍の事業の用に供する工場 (9) 前各号に掲げる施設に附帯する自動車駐車場又は自動車車庫 (10) 自動車に直接燃料を供給するための施設、自動車修理工場又は自動車整備工場 (11) 前各号に掲げるもののほか、流通業務地区の機能を害するおそれがない施設で政令で定めるもの

建ぺい率：建物の建築面積の敷地面積に対する割合

容積率：延べ面積（各階の床面積の合計）の敷地面積に対する割合

都市施設：都市計画法に規定された道路、公園など都市施設のうち、必要に応じ都市計画決定されたもの

出典：板橋区用途地域図（平成27年3月現在）



4 土地利用

[地域全体]

- ・高島平地域は都市開発の経緯から、住宅系の用途が中心となっていますが、新河岸沿岸には準工業地域の用途が多く指定されています。
- ・高島平六丁目（西高島平北側）には流通業務団地、高島平九丁目（西台駅北側）には志村操車場と、大規模な敷地を使った土地利用があります。
- ・準工業地域の一部では、住宅への土地利用転換が進み、住・工混在の土地利用も進んでいます。
- ・高島平一丁目、六丁目、九丁目では、事務所の集積も見られます。
- ・また、高島平団地以外でも、高島平一丁目、七丁目～九丁目では、比較的集合住宅が多くなっています。

[大規模な土地利用]

【流通業務団地】

- ・高島平六丁目には、トラックターミナル、団地倉庫、物流センター、板橋市場が隣り合って立地しています。
- ・首都高速 5 号線、東京外環自動車道、新大宮バイパス（国道 17 号線）等の幹線道路に近く、自動車交通の利便性が高い場所です。
- ・各施設は昭和 40 年代に建築されたものが多く、築 40 年以上を経過しています。
- ・都内の各流通業務団地と比べると、規模の小さい施設となっています。

表：東京都の流通業務団地の施設構成

	板橋	平和島	足立	葛西
トラックターミナル	320 バース	433 バース	340 バース	460 バース
卸売市場	600t/日	—	1,014t/日	924t/日
卸売場	562t/日	1,200t/日	—	—
普通倉庫（倉庫面積）	98,500 m ²	186,200 m ²	98,000 m ²	124,000 m ²
冷蔵倉庫（総収容能力）	—	147,840t	—	—
コンテナ・デポ	300 個/日	—	300 個/日	—

出典：国際競争力強化のための物流施設整備に関するビジョン策定検討委員会資料（国土交通省 H21.1）

【志村操車場】

- ・高島平九丁目（西台駅北側）には、志村操車場（志村車両検修場）があります。
- ・昭和 43 年に志村検修場、翌年に志村車両工場が整備され、さらにその後に土地の有効活用のため、志村検修場、翌年に志村車両工場の一部に人工地盤が建設され、都営西台アパートと旧高島第四小学校が建設されました。
- ・人工地盤上には都営西台アパート（昭和 45 年入居開始、1,104 戸）が 3 棟、東京都住宅供給公社西台住宅（昭和 45 年入居開始、400 戸）が 1 棟あり、その北側には、線路を跨いで建てられている東京都交通局志村寮があります。

【三田線高島平駅南側に位置する旧高島第七小学校跡地を含む公共用地】

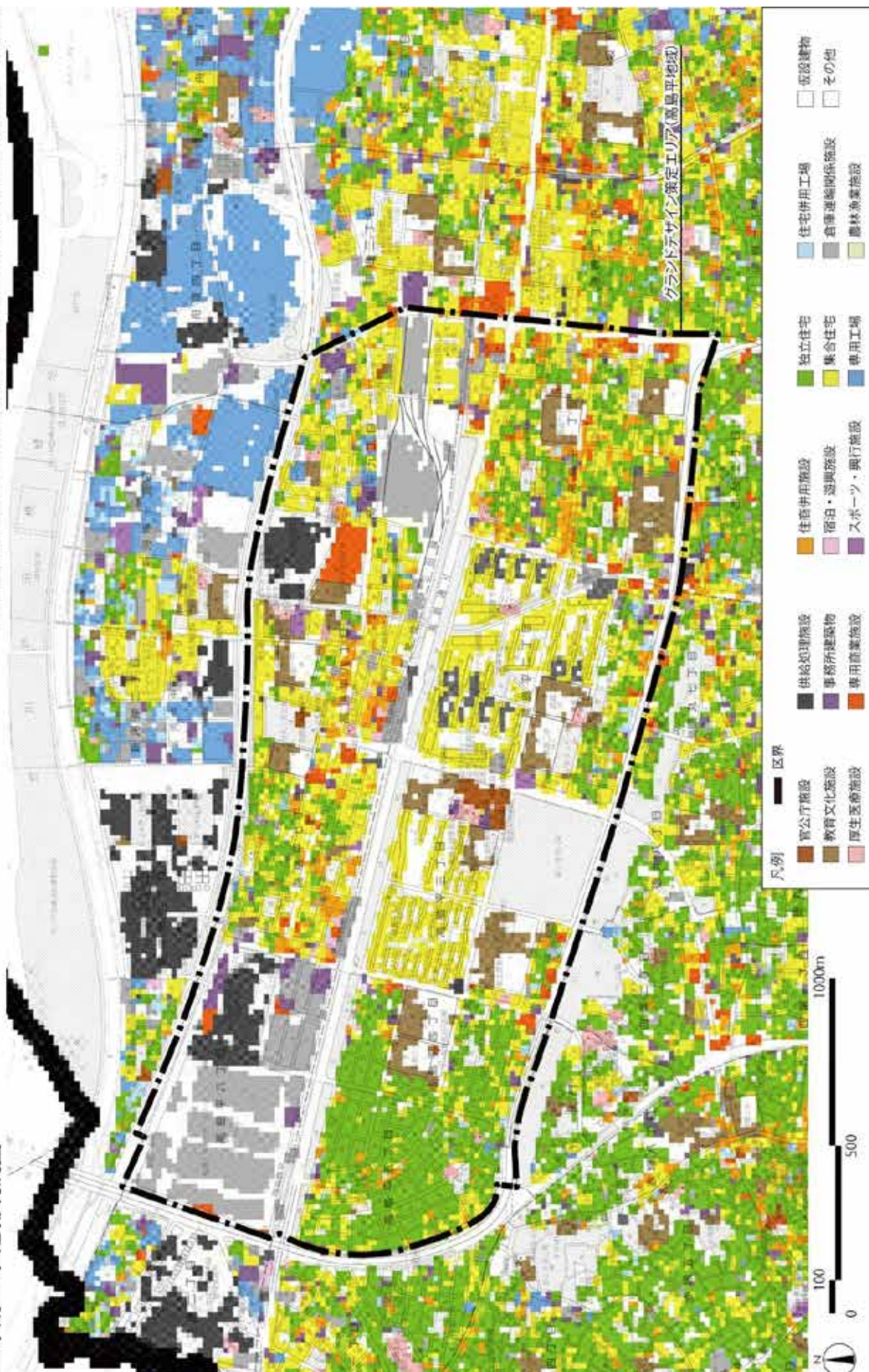
- ・地下鉄直通で都心から約 30 分、駅から徒歩 3 分というロケーションです。
- ・旧高七小は板橋区地域防災計画（平成 17 年度策定）においては、指定避難所・地区救護所として位置づけられています。
- ・旧高七小跡地の周辺には多くの公共施設が立地していますが、これらの施設の中には既に改築・改修等の更新時期を迎えているものもあり、その他の施設においても平成 28 年以降に更新時期が到来することが予想されます。

表：跡地周辺区施設の現況

施設の名称	建設年・築年数	敷地面積	延床面積
旧高七小	昭和54年・築36年	11,791㎡	校舎6,432㎡ 体育館793㎡
高島平健康福祉センター	昭和47年・築43年	650㎡	596㎡
高島平区民事務所	昭和54年・築36年	3,300㎡	369㎡
高島平地域センター			518㎡
高島平区民館			950㎡
高島平児童館			785㎡
高島平学童クラブ			227㎡
高島平図書館	昭和59年・築31年	5,074㎡	2,786㎡
高島平図書館北側区有地	（昭和58年取得）		—

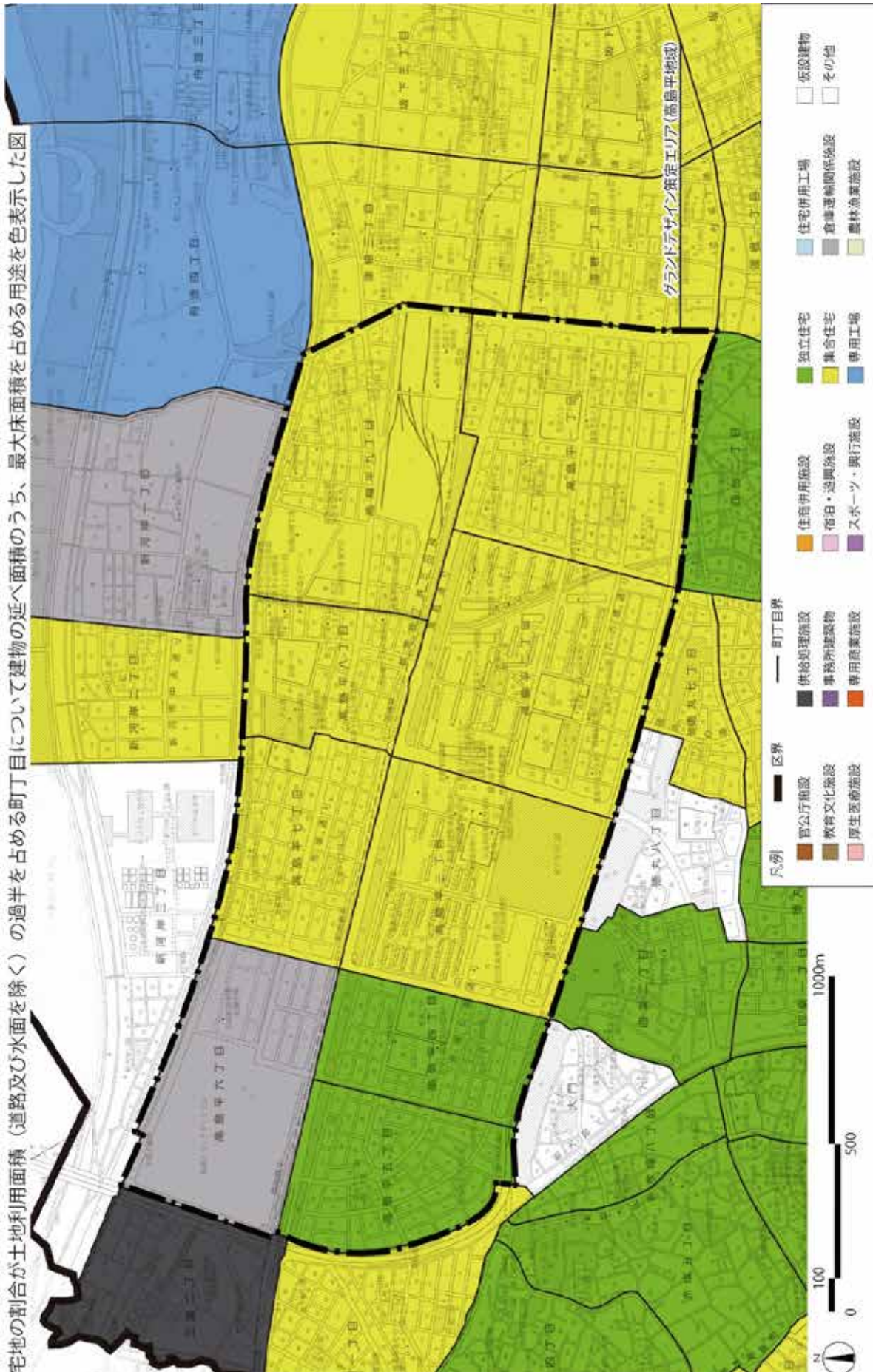
■ 平成23年 建物現況図

出典：東京の土地利用 平成23年東京都区部 平成23年度土地利用現況調査結果の概要（東京都）



参考：東京の土地利用 平成23年度東京都部 平成23年度土地利用状況調査結果の概要（東京都）

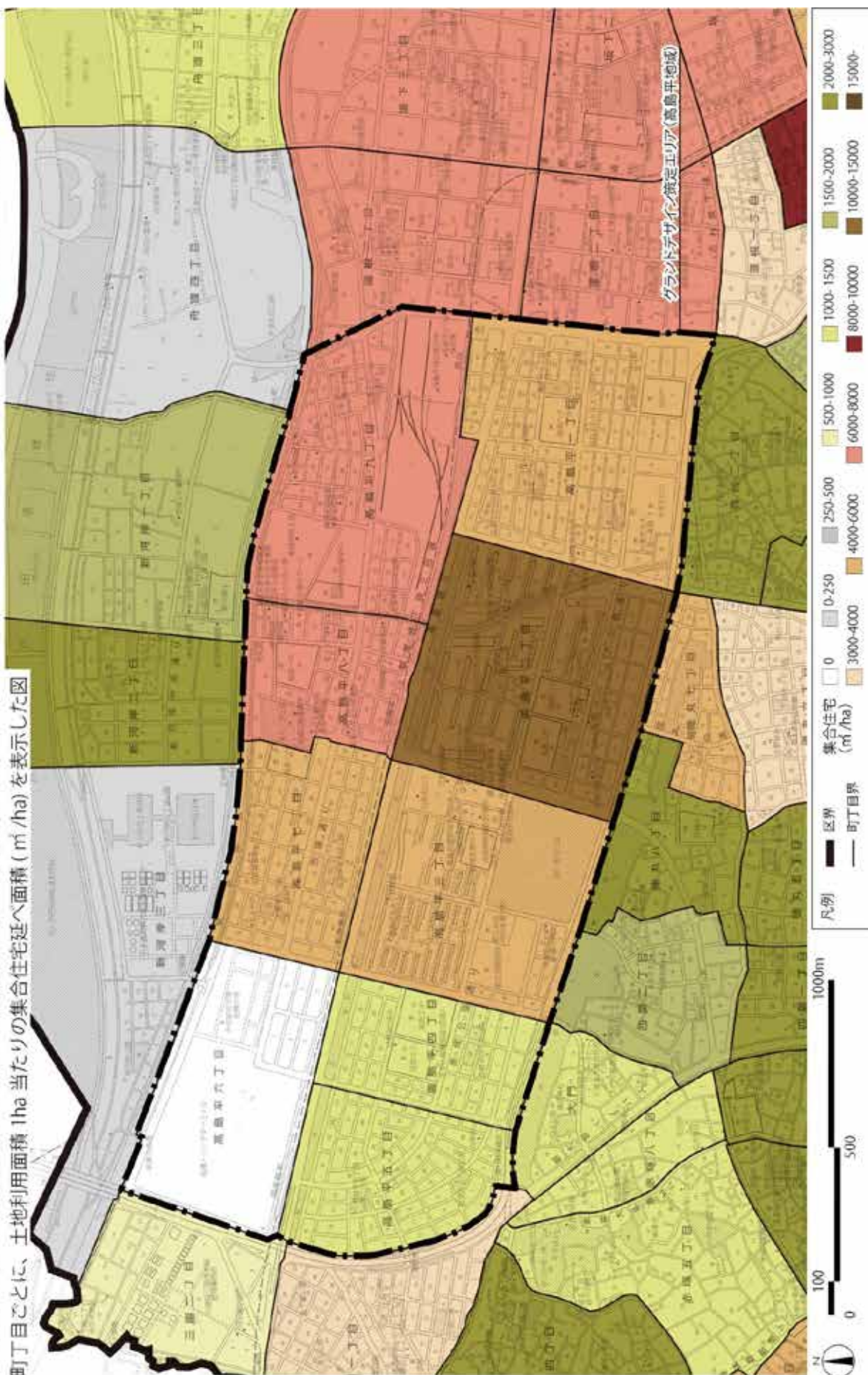
宅地の割合が土地利用面積（道路及び水面を除く）の過半を占める町丁目について建物の延べ面積のうち、最大床面積を占める用途を色表示した図



■ 平成23年 土地利用面積1ha当たりの集合住宅延べ面積 (㎡/ha)

町丁目ごとに、土地利用面積1ha当たりの集合住宅延べ面積 (㎡/ha) を表示した図

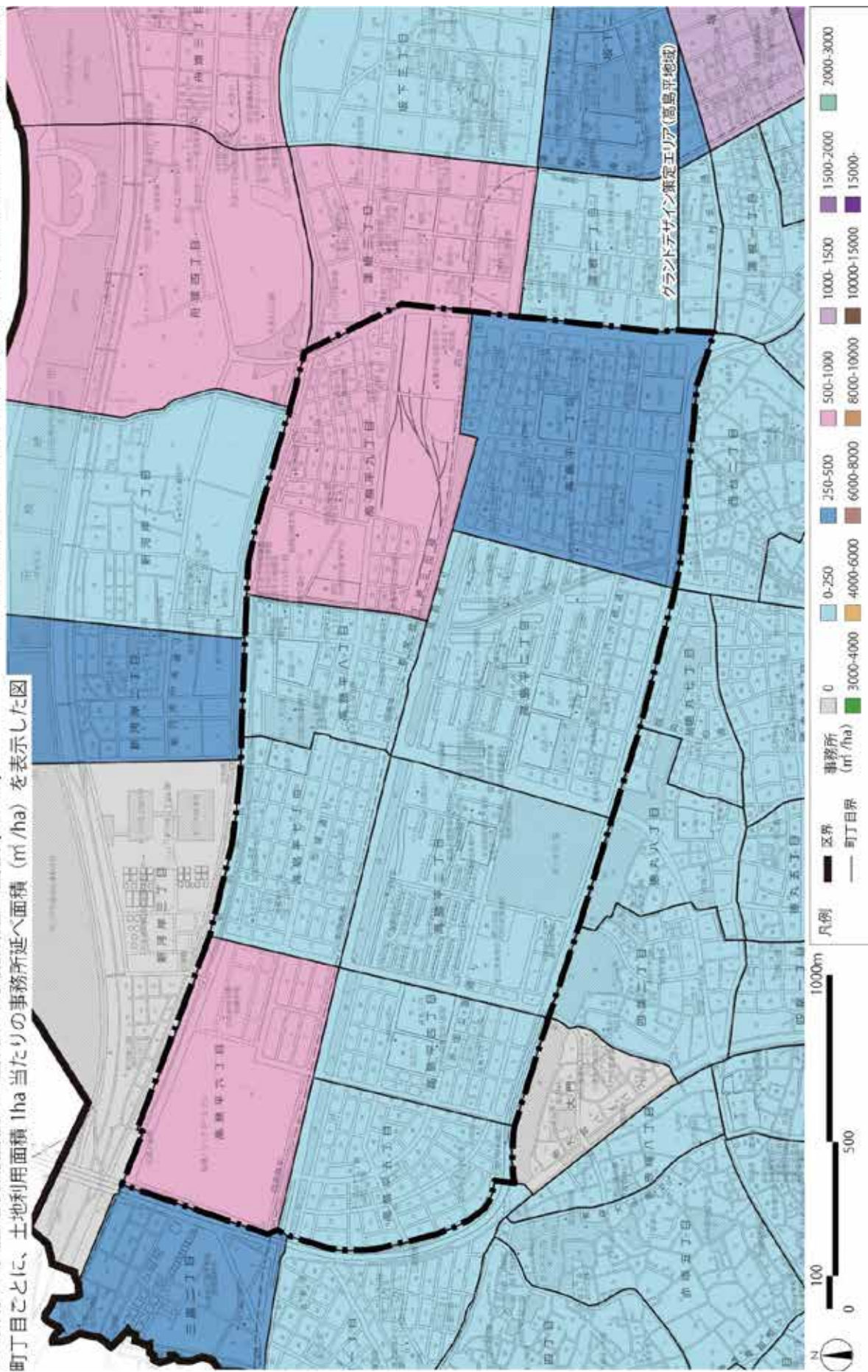
参考：東京の土地利用 平成23年東京都区部 平成23年度土地利用現況調査結果の概要（東京都）



■ 平成23年土地利用面積1ha当たりの事務所延べ面積 (㎡/ha)

町丁目ごとに、土地利用面積1ha当たりの事務所延べ面積 (㎡/ha) を表示した図

参考：東京の土地利用 平成23年東京都区部 平成23年度土地利用状況調査結果の概要 (東京都)



5 建物

(1)不燃化率

- ・戸建て住宅が立地するエリアを除き、不燃化率は概ね 70%以上となっています。
- ・高島平団地を含む高島平二丁目、三丁目は、90～100%の不燃化率となっています。

(2)高さ

- ・高島平一丁目～三丁目、六丁目～九丁目では中高層化が進み、団地（高島平二丁目、三丁目）では高層化も進んでいます。

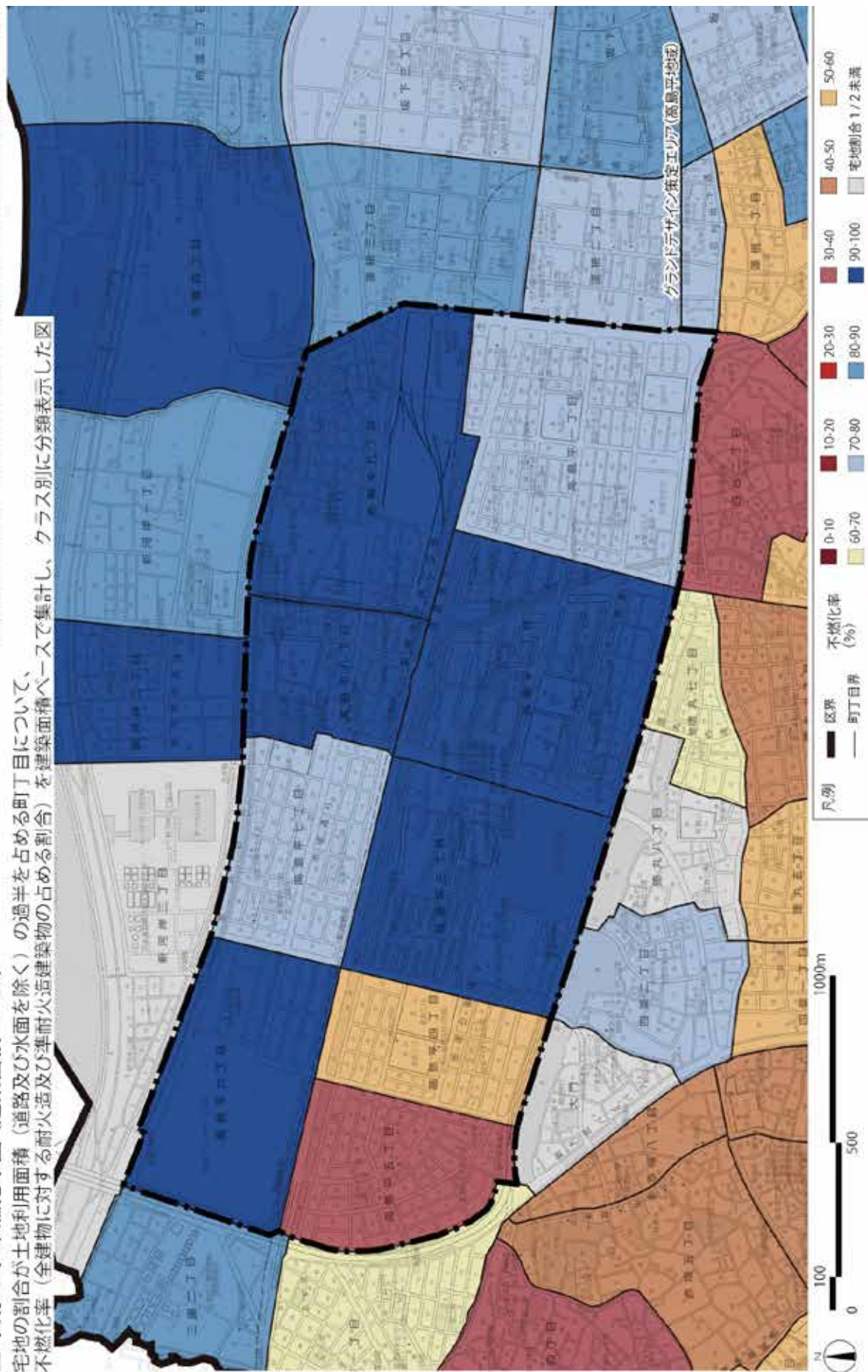
(3)容積率

- ・高島平地域は、概ね 150～200%の容積率の利用となっています。
- ・高島平二丁目のみ、300～350%という比較的高容積となっています。
- ・一方で高島平四丁目～六丁目は、戸建住宅やトラックターミナルが立地する事から、50～150%の低容積率となっています。

■ 平成23年 不燃化率図 (建築面積ベース)

宅地の割合が土地利用面積 (道路及び水面を除く) の過半を占める町丁目について、不燃化率 (全建物に対する耐火造及び準耐火造建築物の占める割合) を建築面積ベースで集計し、クラス別に分類表示した図

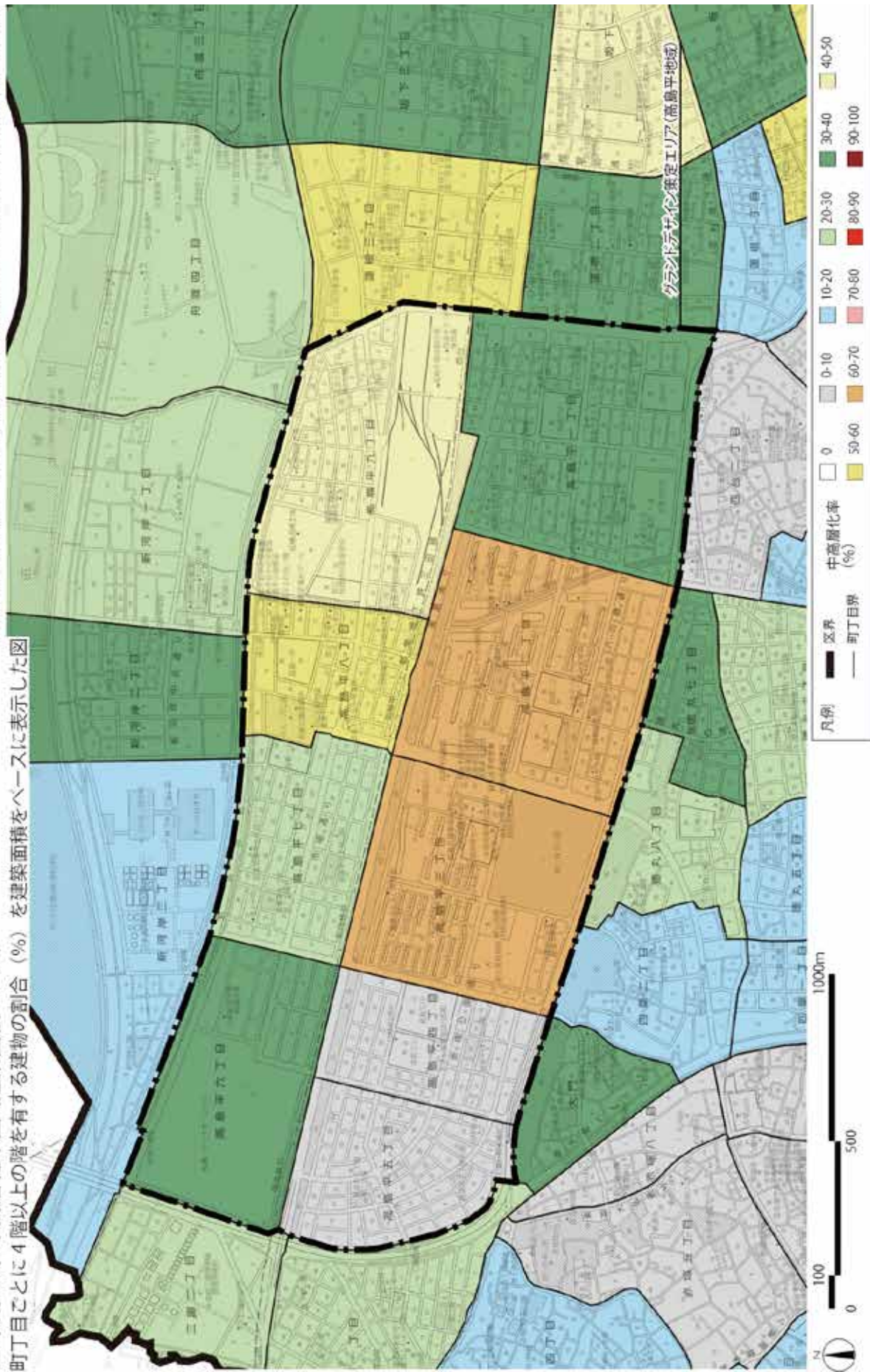
出典：東京の土地利用 平成23年東京都部 平成23年度土地利用状況調査結果の概要 (東京都)



■ 平成23年 中高層化率図 (建築面積ベース)

町丁目ごとに4階以上の階を有する建物の割合(%)を建築面積をベースに表示した図

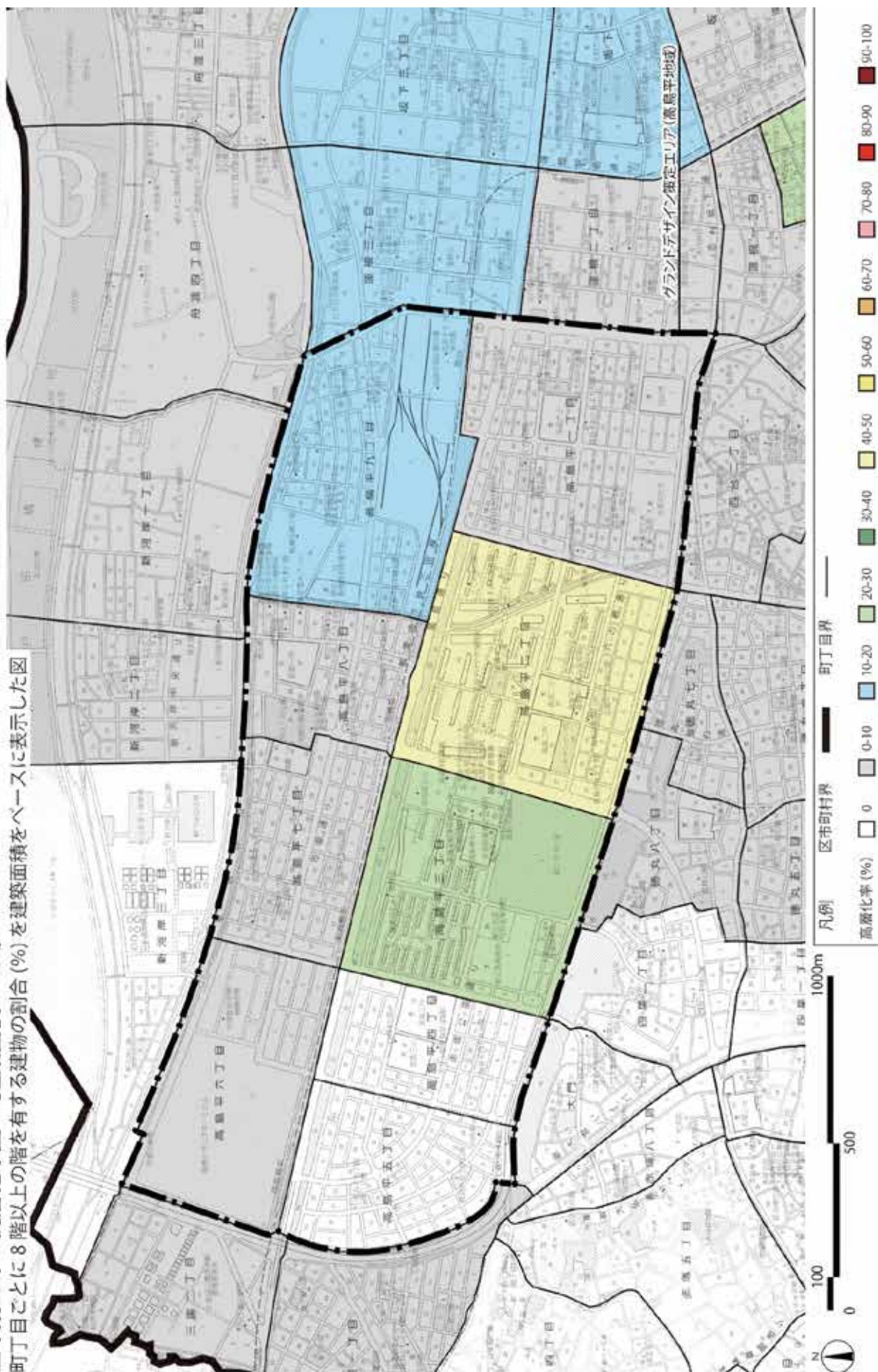
出典：東京の土地利用 平成23年東京都建設部 平成23年度土地利用状況調査結果の概要 (東京都)



■平成23年 高層化率図（建築面積ベース）

町丁目ごとに8階以上の階を有する建物の割合(%)を建築面積をベースに表示した図

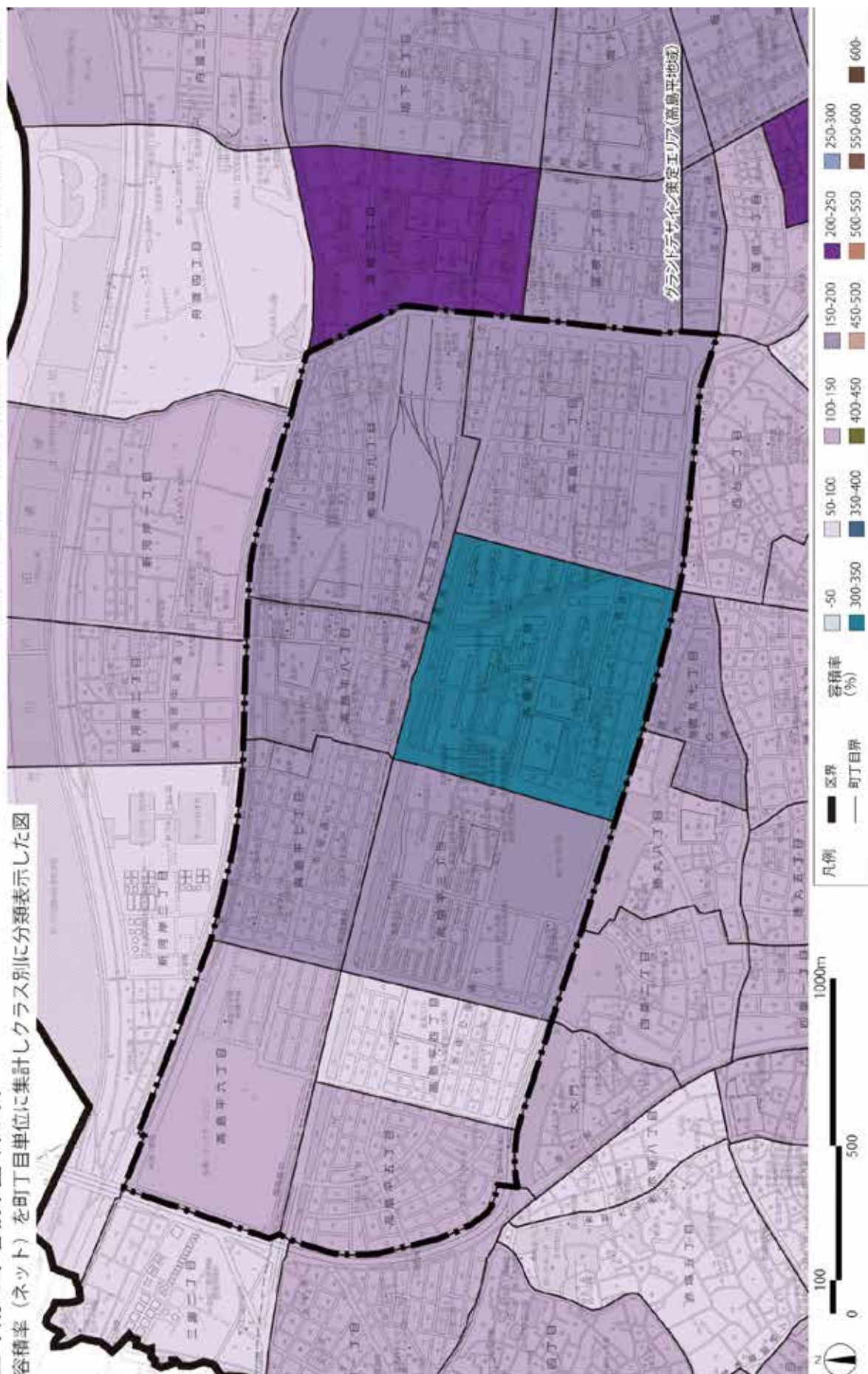
参考：東京の土地利用 平成23年度東京都部 平成23年度土地利用現況調査結果の概要（東京都）



■ 平成23年 容積率図 (ネット)

容積率 (ネット) を町丁目単位に集計しクラス別に分類表示した図

出典：東京の土地利用 平成 23 年東京都区部 平成 23 年度土地利用現況調査結果の概要 (東京都)



6 都市基盤

- ・高島平地域の骨格的な道路としては、外周をめぐる首都高速 5 号線、国道 17 号新大宮バイパス、都道 446 号、都道 447 号があります。
- ・高島平地域内の都市計画道路は特殊街路（歩行者専用道）以外は、全て整備済みとなっています。
- ・骨格的な道路で囲まれた内部の道路も概ね 6m以上の幅員で整備されており、ゆとりある基盤状況となっています。
- ・ただし、地域を東西に走る三田線の各駅は、駅前広場が不十分で、駅前に発着するバス乗り場も道路上に設置されている状況にあります。

出典：板橋区管理者別道路参考図



7 交通

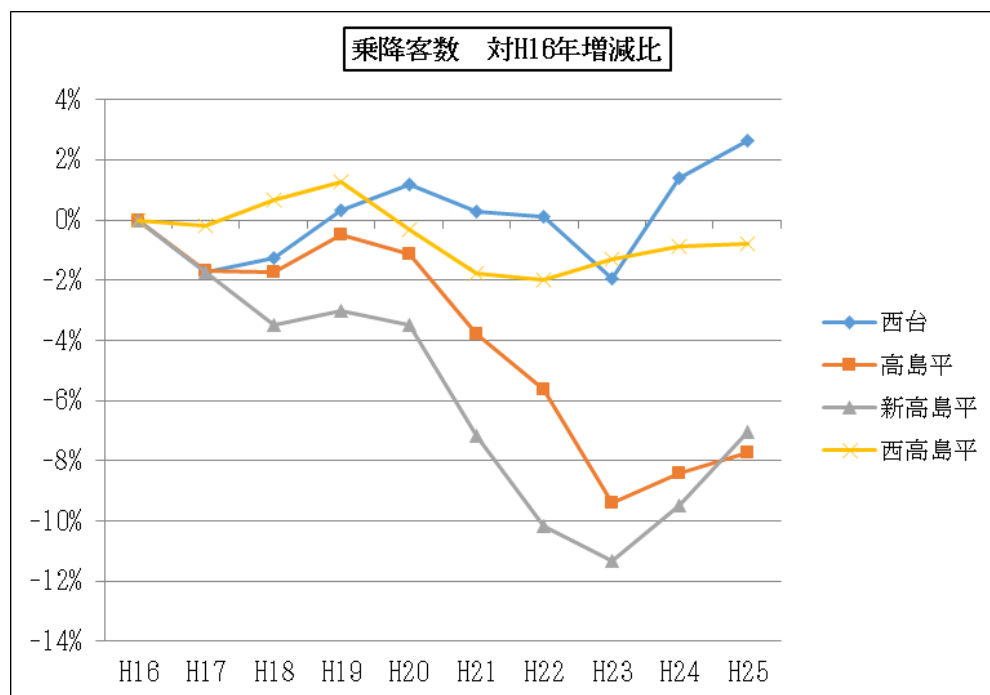
(1) 鉄道

○三田線の一日平均乗車人員数

- ・高島平地域には、三田線が東西に走り、「西台」、「高島平」、「新高島平」、「西高島平」の4駅があります。
- ・平成25年の一日平均乗車人員をみると、高島平駅の14,804人が最大となっています。
- ・平成16年からの推移を見ると、各駅とも減少傾向にはあるものの、平成23年からは若干の上昇に転じています。
- ・駅別にみると、新高島平駅と高島平駅の減少率が大きくなっています。

表・グラフ：三田線 一日平均乗車人員

	西台	高島平	新高島平	西高島平
H16	12,326	16,043	5,245	6,242
H17	12,114	15,772	5,154	6,229
H18	12,172	15,767	5,062	6,285
H19	12,366	15,967	5,086	6,321
H20	12,470	15,864	5,062	6,221
H21	12,361	15,438	4,869	6,132
H22	12,338	15,139	4,712	6,119
H23	12,087	14,534	4,652	6,160
H24	12,496	14,697	4,748	6,187
H25	12,650	14,804	4,876	6,192



出典：東京地下鉄(株)

○その他

- ・高島平地域を通っている鉄道は三田線のみの単一鉄道ラインですが、環状8号線をルートとして赤羽から羽田空港（北区、板橋区、練馬区、杉並区、世田谷区、大田区）を結ぶ環状鉄道（エイトライナー）の計画があり、将来的には23区の西北部から南部を結ぶ良好な交通アクセスが期待されています。

(2)バス

- ・高島平地域の路線バスは、国際興業バスとコミュニティバス「りんりん号」が運行しています。
- ・国際興業バスは、西台駅に4系統、高島平駅に7系統、西高島平駅に2系統運行しており、特に高島平駅に路線が集中しており、高島平駅と池袋駅、下赤塚駅、成増駅、東武練馬駅、浮間舟渡駅等を結んでおり、地域の利便性向上に寄与しています。
- ・一方、新高島平駅には、コミュニティバス「りんりん号」が運行しています。コミュニティバス「りんりん号」は、公共交通サービス水準の向上や観光・文化の振興を推進するため、赤塚・徳丸・四葉・大門・高島平地域を運行しています。
- ・コミュニティバス「りんりん号」の運賃は現金の場合、おとな 220 円（IC カード 216 円）、子ども 110 円（IC カード 108 円）で、シルバーパスがあれば無料となっています。

(3)自動車交通網

- ・地域に近接する「高島平出入口」や「中台出入口」といった首都高速5号線からなる利便性の高い自動車交通網も大きな魅力となっています。
- ・近年では板橋ジャンクションや熊野町ジャンクションを介して、都心部を通らずに千葉方面や中央自動車道、東名自動車道にもアクセスが可能となっています。
- ・足を延ばして埼玉方面に向かえば、東京外環自動車道も利用可能であり、関越自動車道、東北自動車道や常磐自動車道にもアクセスができ、都心エリアのみでなく、全国各地へ向かう交通網との連絡も充実しています。



○和光富士見バイパス（国道254バイパス）

- ・埼玉県では、国道254号の著しい交通渋滞の緩和と主要幹線道路へのアクセス強化のため、和光市内の東京外かく環状道路から朝霞市、志木市を経て富士見市内の国道463号までの延長6,850mの「一般国道254号和光富士見バイパス」整備を進めています。
- ・道路幅員36.0～42.0m、車道4車線 両側歩道（幅員3.5m）
- ・事業着手年度：昭和59年度、総事業費：約600億円
- ・平成22年4月に延長2.6kmの区間が暫定2車線で開通（この内0.6kmは平成4年度に開通）
- ・開通に要した事業費：約140億円

○放射第 35 号線および放射第 36 号線

- ・現在、小茂根四丁目を起点とし、練馬区早宮二丁目を終点とする延長 1.97km の区間において、平面構造で 4 車線の道路の新設事業が行われています。
- ・現在は、放射第 35 号線は、放射第 8 号線（川越街道）交差点部まで供用されており、放射第 36 号線は、環状第 7 号線交差点部（板橋区小茂根四丁目）まで供用されています。

表：事業計画の概要

項 目	計 画 の 概 要
都 市 計 画 道 路 名	東京都市計画道路幹線街路放射第 35 号線 東京都市計画道路幹線街路放射第 36 号線
延 長 及 び 区 間	延長：1.97km 起点：板橋区小茂根四丁目（環状第 7 号線交差部） 終点：練馬区早宮二丁目（補助第 237 号線交差部）
通 過 地 域	板橋区、練馬区
道 路 規 格	第 4 種第 1 級 ^{注 1)}
車 線 数	本線 4 車線
道 路 幅 員	40.0～50.0m
設 計 速 度	60km/時
道 路 構 造	平面構造（一般部：約 1.94km、橋梁部：約 0.03km）
主 要 交 差 道 路 （ 都 市 計 画 道 路 ）	環状第 7 号線、補助第 234 号線、補助第 236 号線、 補助第 237 号線、放射第 35 号線 ^{注 2)}
計 画 交 通 量	平成 30 年度：38,900～41,900 台/日 平成 42 年度：27,900～38,800 台/日
供 用 開 始	平成 30 年度（予定）
工 事 期 間	平成 25 年度～平成 29 年度（予定）

注 1) 第 4 種第 1 級とは、「道路構造令」（昭和 45 年 10 月 29 日政令 320 号）で定められた道路の区分です。

注 2) 主要交差道路の放射第 35 号線は、本事業の放射第 35 号線と放射第 36 号線の接続部から、環状第 7 号線にかけて計画されている道路です。

出典：放射第 35 号線及び放射第 36 号線建設事業 環境影響評価書



図：放射第 35,36 号線、国道 254 号和光富士見バイパス 整備状況

○自動車交通量（平成 22 年度道路交通センサス）

- ・高島通り（赤羽西台線・下表及び図①）の自動車交通量は約 3 万台/日で、混雑度は 0.65 となっており、混雑することなく円滑に走行できている状態です。
- ・一方、周辺の国道 17 号（下表及び図②）や長後赤塚線（下表及び図③）は、高島通りに比べると交通量が多く、混雑度も 1 を超えています。特に国道 17 号の混雑度は 1.73 と高く、慢性的混雑状態に近い状態です。

表：自動車交通量（H22 年度）

番号	道路種別	路線名	交通量観測地点地名	昼間12時間 自動車類交通量 上下合計			24時間 自動車類交通量 上下合計			混雑度	車線数
				小型車 (台)	大型車 (台)	合計 (台)	小型車 (台)	大型車 (台)	合計 (台)		
①	一般都道	赤羽西台線	板橋区高島平3-14	13,517	6,833	20,350	21,056	8,248	29,304	.65	6
②	一般国道	一般国道17号	板橋区三園2-14	33,508	13,932	47,440	49,105	21,382	70,487	1.73	8
③	一般都道	長後赤塚線	板橋区西台1-52	19,287	4,591	23,878	28,133	6,251	34,384	1.15	4



（H22 年度 道路交通センサスより作成）

(4) 自転車

- ・高島平地域で有料自転車駐車場の利用状況をみると、最も多いのが、高島平駅第1・第2自転車駐車場です。次いで高島陸橋交差点・西高島平駅となっています。
- ・一方、放置自転車の撤去台数をみると、一日の乗降客数が一万を超える西台駅と高島平駅では、放置自転車も多く、新高島平駅や西高島平駅の倍以上の台数になっています。

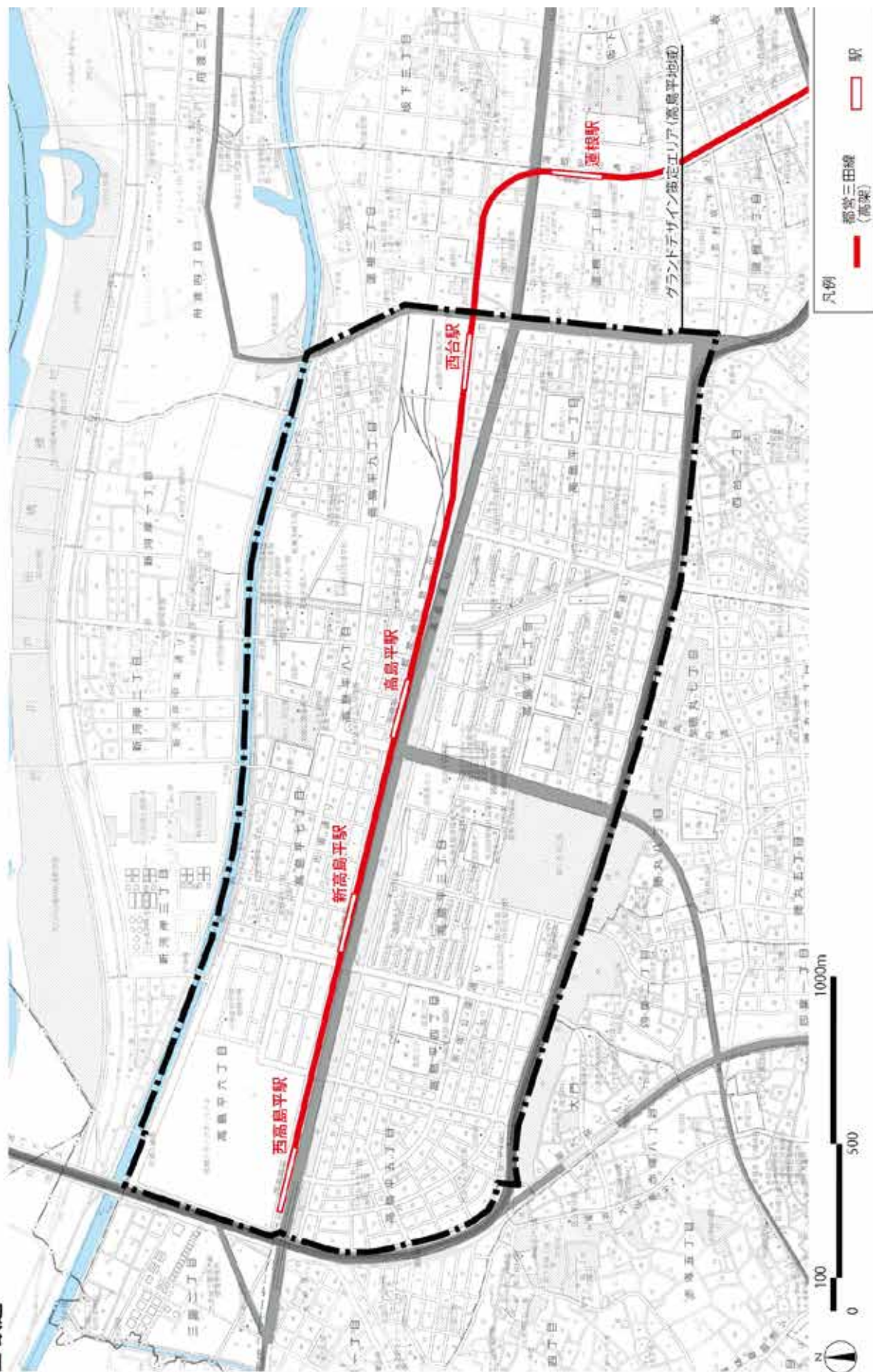
表：有料自転車駐車場利用状況（H24実績）

	自転車利用		バイク利用		合計	
	定期(件)	当日(台)	定期(件)	当日(台)	定期(件)	当日(台)
西台駅高架下・東	5,494	49,287	657	5,190	6,151	54,477
高島平駅第1・第2	15,920	160,934	709	5,794	16,629	166,728
新高島平駅北	482	4,627	56	936	538	5,563
高島陸橋交差点・西高島平駅	6,909	99,315	421	6,027	7,330	105,342
志村三丁目駅第1～第4	12,799	147,573	601	12,906	13,400	160,479
蓮根駅	6,074	133,421	8	1,669	6,082	135,090
区の合計	140,662	1,834,626	7,770	93,427	148,432	1,928,053

表：放置自転車等の撤去等実績（H24実績）

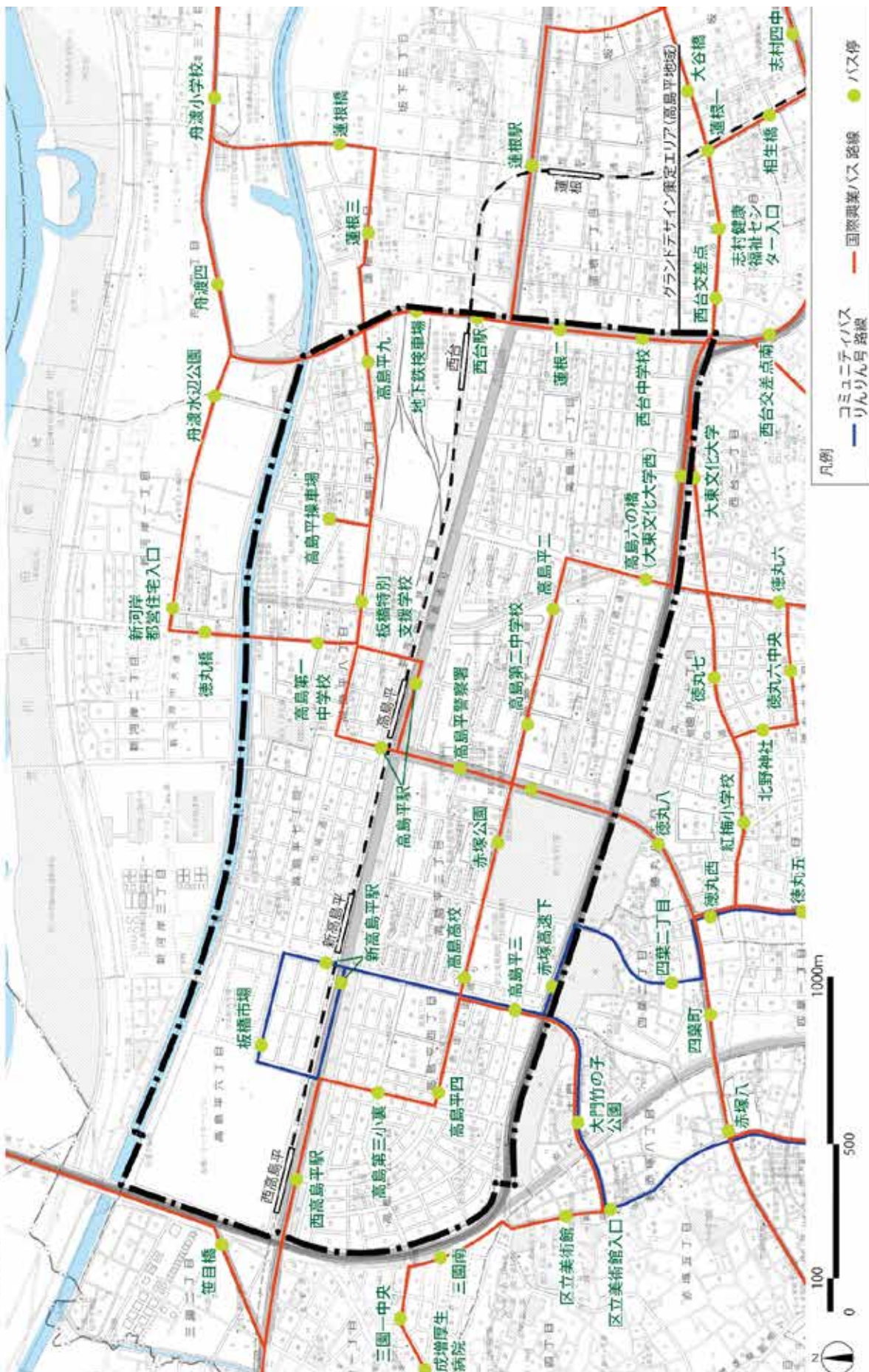
		西台駅	高島平駅	新高島平駅	西高島平駅	志村三丁目駅	蓮根駅	区の合計
撤去回数		44	84	37	36	42	47	1,057
撤去台数	自転車	1,215	1,099	406	367	519	383	19,865
	バイク	14	20	8	8	2	4	366
	合計	1,229	1,119	414	405	521	387	20,231
引渡台数	自転車	671	550	279	246	206	200	10,595
	バイク	13	17	8	9	2	3	339
	合計	684	567	287	255	208	203	10,934
(内) 盗難	自転車	15	20	6	8	16	13	378
	バイク		1					3
	合計	15	21	6	8	16	13	381
返還率 (%)	自転車	55.2	50.0	68.7	62.0	39.7	52.2	53.3
	バイク	92.9	85.0	100.0	112.5	100.0	75.0	92.6
	合計	55.7	50.7	69.3	63.0	39.9	52.5	54.0

■ 鉄道



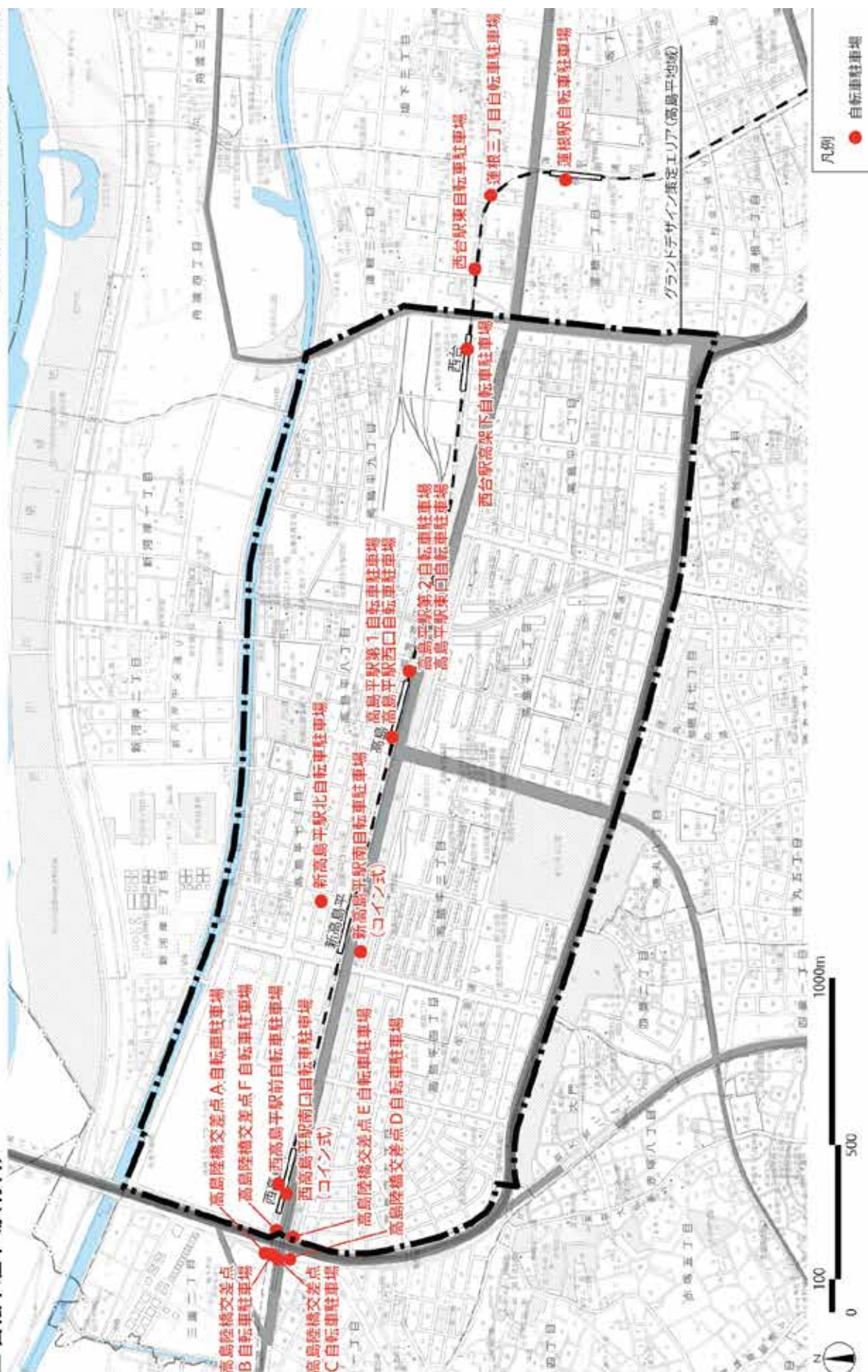
■ バス路線図

参考:板橋区役所ホームページ 国際興業バス路線図



■ 自転車駐車場 (有料)

参考: 有料自転車駐車場 (板橋区ホームページ)



8 緑

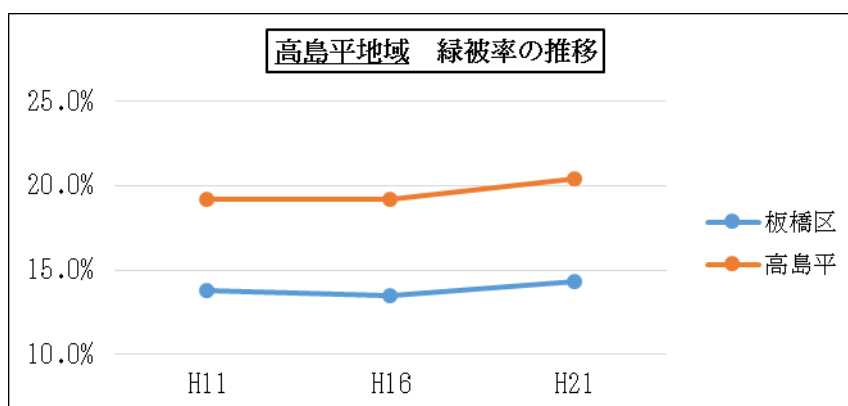
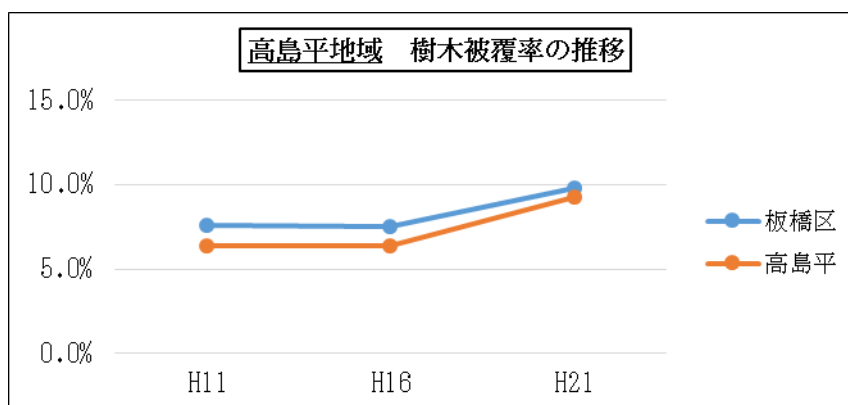
(1)緑被率等

○5 地域別緑被率等

- ・板橋区の緑地・樹木の実態調査（Ⅷ）によると、平成11年から平成21年にかけて、100 m²以上の緑被地を対象とした樹木被覆率及び緑被率は、平成16年には若干減少していましたが、平成21年には増加しています。
- ・高島平地域では、平成16年から21年にかけては、「樹木被覆地」が増加し、「草地」、「農地」が減少し、「緑被地」全体では11.5haの増加となっています。
- ・高島平地域は大規模な公園等の「樹木被覆地」や大規模敷地の施設緑地が多く、これらの成長による増加が見られ、緑被率の増加が最も大きかったのは高島平地域となっています。
- ・一方、一部の集合住宅の建て替え等に伴う樹木の減少や、大規模集合住宅建設に伴う未利用地草地の宅地化により、「草地」が減少した状況も生んでいます。

表・グラフ：100 m²以上の緑被地を対象とした緑被率等の変化

	H11				H16				H21			
	樹木被覆地 (ha)	樹木被覆率 (%)	緑被面積 (ha)	緑被率 (%)	樹木被覆地 (ha)	樹木被覆率 (%)	緑被面積 (ha)	緑被率 (%)	樹木被覆地 (ha)	樹木被覆率 (%)	緑被面積 (ha)	緑被率 (%)
板橋区	245.8	7.6	444.7	13.8	242.7	7.5	433.0	13.5	316.0	9.8	459.1	14.3
高島平地域	59.6	6.4	177.6	19.2	58.8	6.4	177.3	19.2	85.8	9.3	188.8	20.4



出典：板橋区緑地・樹木の実態調査（Ⅷ）

表：5地域別の緑被地の変化

	面積 (ha)	増減				
		樹木 被覆地 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	緑被地 (ha)	緑被率 (%)
板橋地域	525.0	6.26	▲ 1.74	▲ 0.04	4.48	0.8
常盤台地域	467.1	9.55	▲ 4.59	▲ 0.02	4.93	1.1
志村地域	644.6	11.84	▲ 7.92	▲ 1.10	2.83	0.5
赤塚地域	655.0	18.63	▲ 9.59	▲ 6.62	2.42	0.4
高島平地域	925.3	27.02	▲ 15.17	▲ 0.35	11.50	1.2
区全域	3,217.0	73.30	▲ 39.01	▲ 8.12	26.17	0.8

出典：板橋区緑地・樹木の実態調査（Ⅷ）

表：5地域別緑被率増加の順位

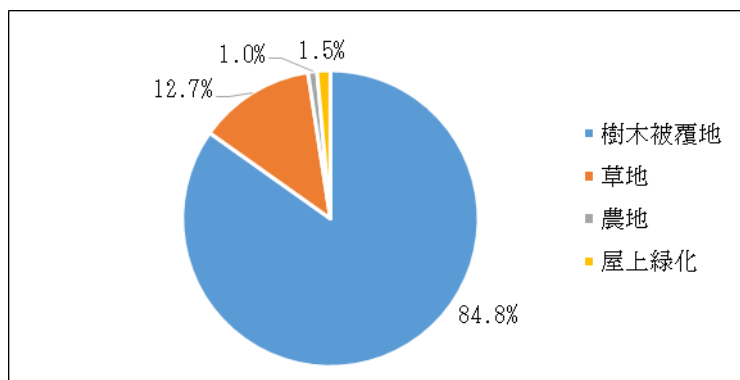
順位	地域	緑被率変化
1	高島平地域	1.2
2	常盤台地域	1.1
3	板橋地域	0.8
4	志村地域	0.5
5	赤塚地域	0.4
	区平均	0.8

出典：板橋区緑地・樹木の実態調査（Ⅷ）

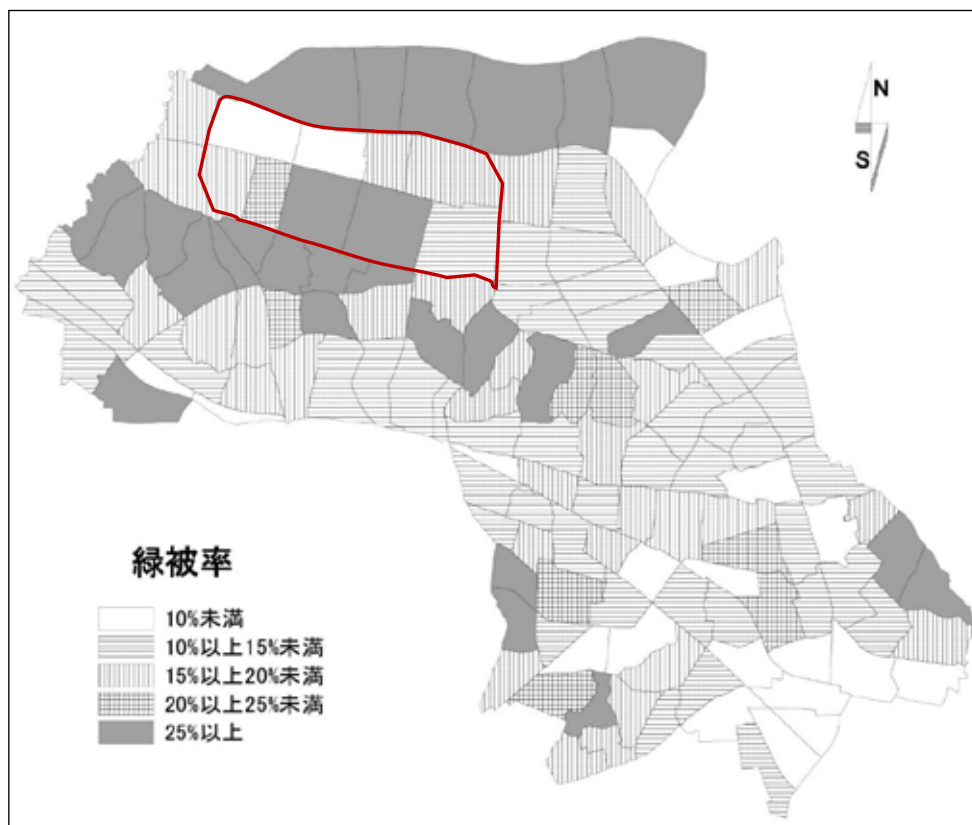
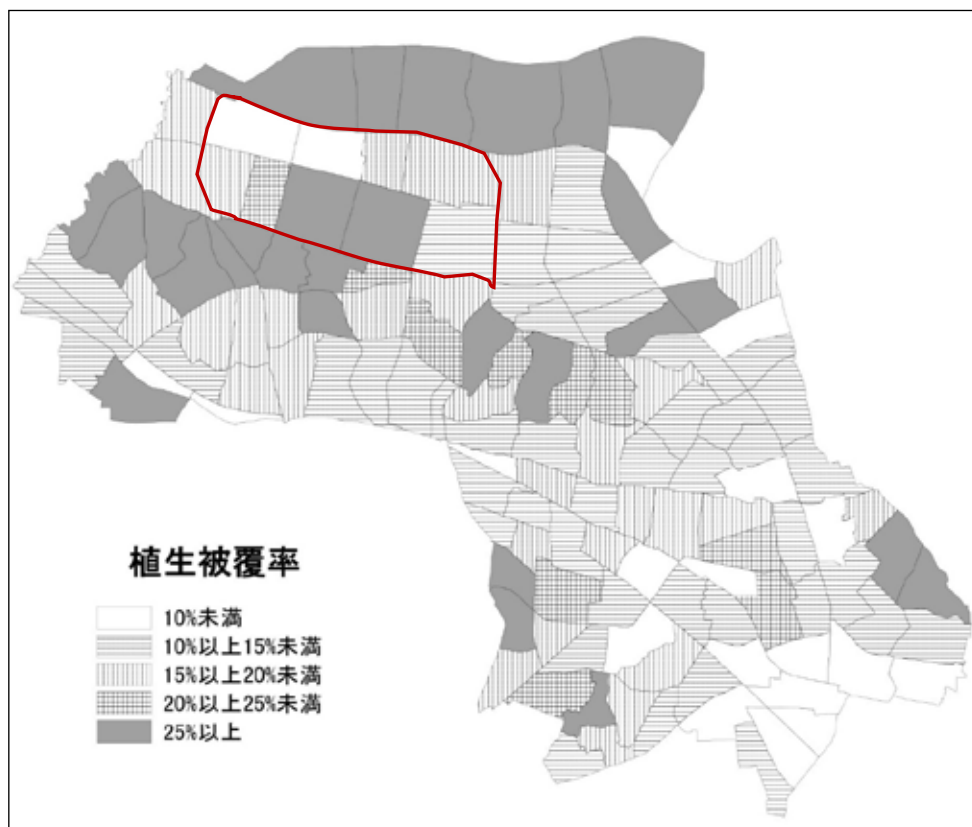
○町丁目別緑被率等

- ・高島平地域の緑被地面積の構成をみると、80%超を「樹木被覆地」が占めています。
- ・町丁目別に見ると、高島平団地のある高島平二丁目、三丁目、特に高島平三丁目の緑被率は区内でも4番目に高い値を示している一方、流通業務団地を抱える高島平六丁目はワースト5に入っています。地域内で極端な差があります。

グラフ：高島平地域 緑被地の構成



出典：板橋区緑地・樹木の実態調査（Ⅷ）



出典：板橋区緑地・樹木の実態調査（Ⅷ）

(2)公園等

(公園分布)

- ・バーベキュー広場や多くのスポーツ施設がある都立赤塚公園や、ヤギやヒツジとふれ合えることも動物園高島平分園等、特徴的な公園があります。
- ・高島通り沿道には高島平緑地や高島第二中に隣接するサッカー場、高島平二丁目から高島平八丁目へと続く前谷津川緑道など、緑豊かな公園・緑地等が分布しています。

(街路樹)

- ・比較的広幅員の道路環境であり、計画的に開発された住宅地が多いことから、街路樹の植樹が積極的に行われており、豊かな緑を形成しています。

(公園の管理)

- ・公園の清掃、除草など公園の美化活動について、区民の方々との協働による維持管理を進めており、高島平地域では、地域住民により組織された4つの公園愛護協力会への清掃委託を行っています。

表：高島平地域の公園愛護団体

団体名	委託場所
グリーンパーク愛護協力会 (高島平一丁目地区)	高島平一丁目公園 高島平一丁目第二公園 高島平一丁目第三公園
高島平四・五丁目地区 公園愛護協力会	高島平四丁目公園 高島平五丁目公園 高島平五丁目第二公園
高島平七丁目地区公園愛護協力会	高島平七丁目公園 高島平七丁目第二公園
高島平九丁目第二公園愛護協力会	高島平九丁目第二公園

(3)地域の緑化整備活動

(地域がつくる公園制度)

- ・地域がつくる公園制度とは、公園を、地域のボランティアグループに管理を任せ
る制度です。板橋区と地域住民と公園の管理について、お互いの役割を決め、一
緒に公園の管理を実施するための協定を結んでいます。
- ・ただし、高島平地域では、実績がありません。

表：公園管理に関する地域と区の役割分担

地域住民の会・団体	板橋区
●主に会員個人による活動 巡視・巡回	
●主に団体による活動 清掃・除草（週1回以上）	ごみの回収・トイレの清掃
清掃道具（ほうき・ごみ袋等）の購入 ボランティア保険の加入 ※	活動費(必要経費相当)の支払い
倉庫の管理	倉庫の設置 ※公園により出来ない場合がある
●主に自主性による活動 樹木の簡易な刈り込み・剪定	通常の樹木剪定
遊具などの施設点検・軽易な整備	施設の補修
こどもの危険な遊び注意や簡易な苦情対 応	苦情対応
排水施設の清掃	
制度に関する普及啓発、会同士の連絡調 整	告知板設置

出典：板橋区HP「地域がつくる公園制度のご案内」

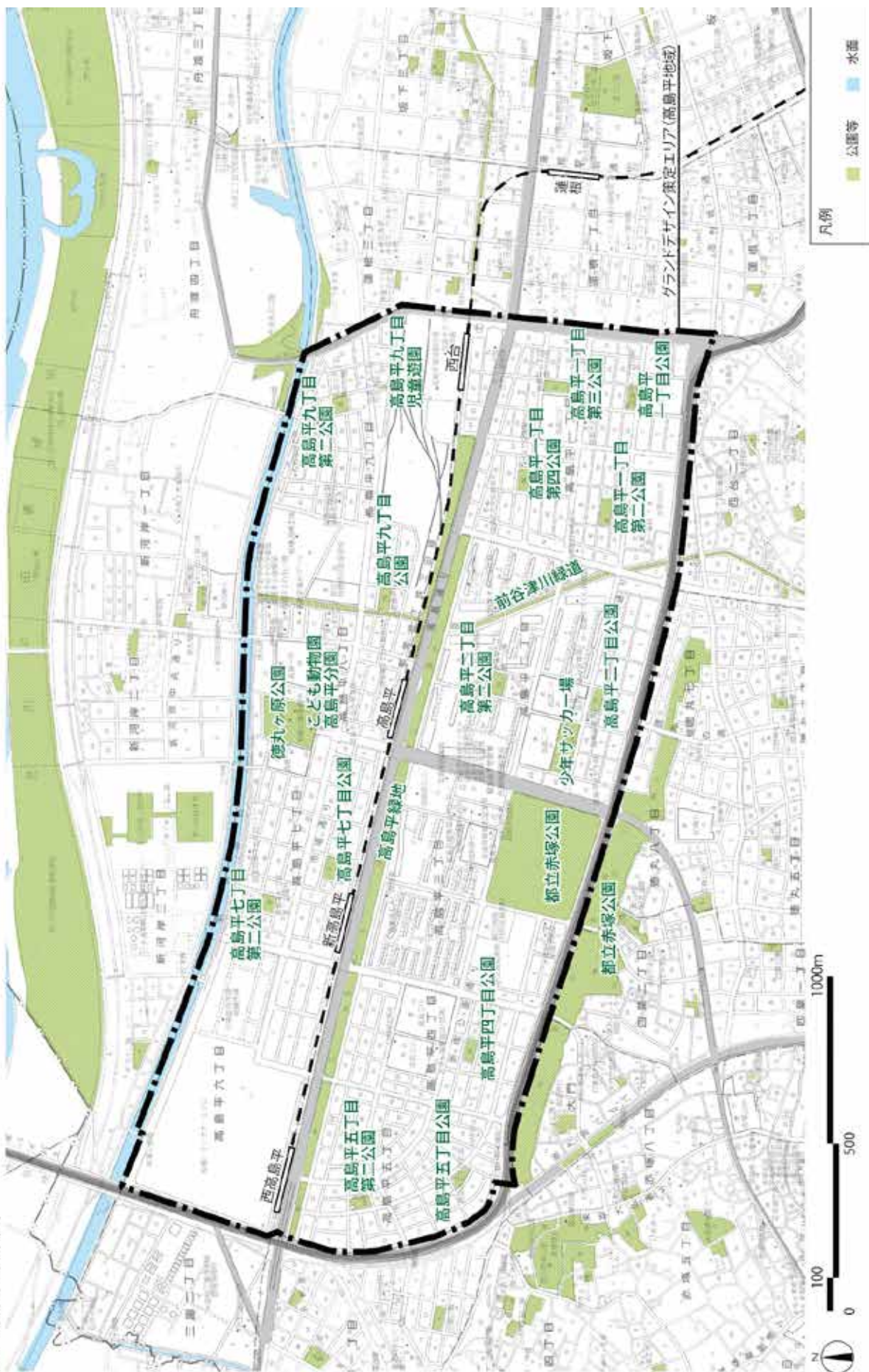
(花づくりグループ支援事業)

- ・花づくりグループとは、公園の花壇を地域の方々に開放し、花づくりを楽しみながら公園を美しくすることを目的としたものです。
- ・地域住民がグループで行う公園花壇での花づくり活動に対して、区は春と秋の2回、花苗や肥料等の資材を支給しています。
- ・高島平では次の7つの団体が地域の公園において花づくりを行っています。

表：高島平地域の花づくりグループ

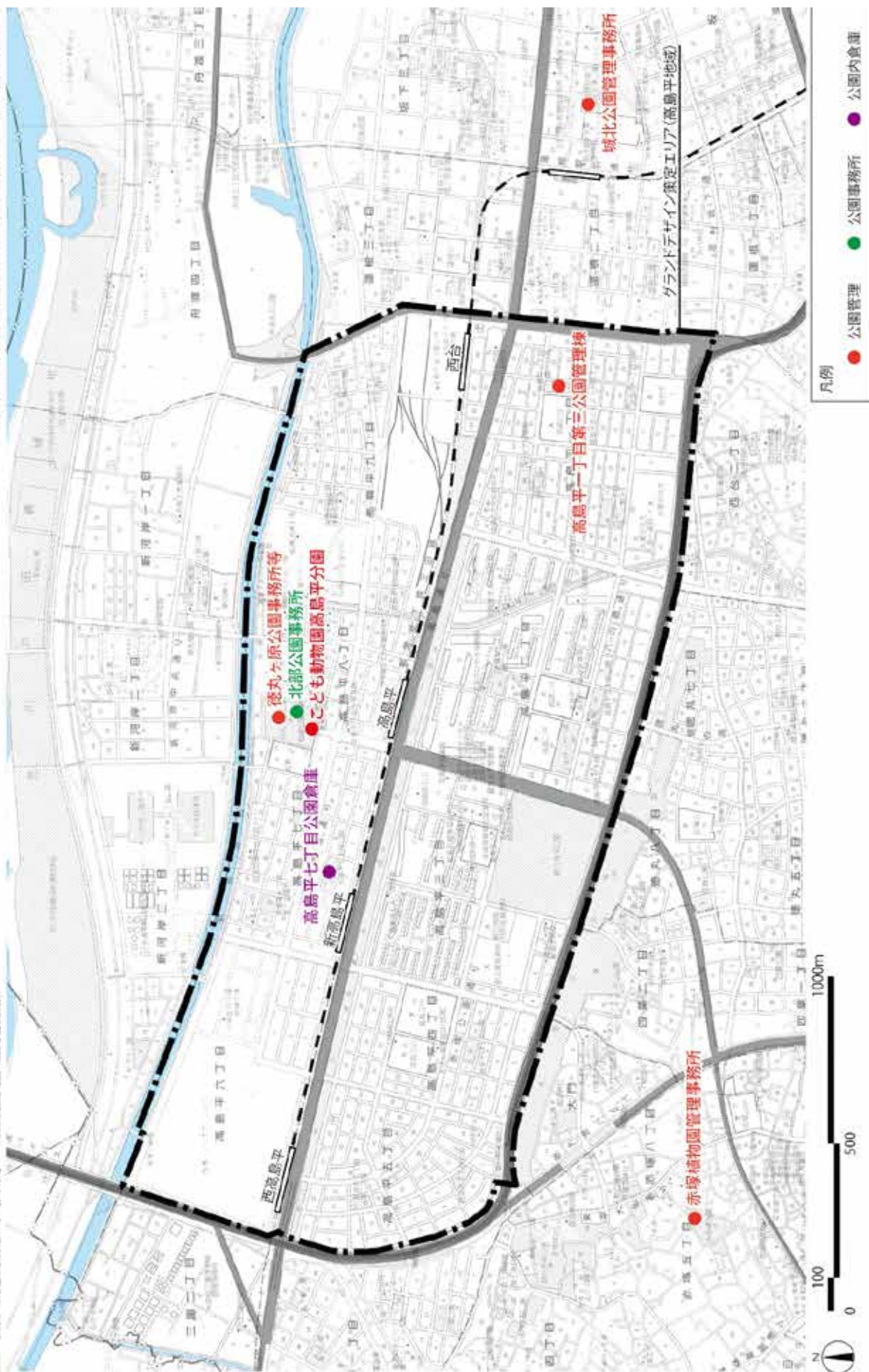
団体名	委託場所
花組	高島平二丁目第二公園
オレンジグループ	高島平緑地（高島平三丁目14番）
高島平四丁目公園愛護協力会	高島平四丁目公園
高島平五丁目公園愛護協力会	高島平五丁目公園
高島平五丁目第二公園愛護協力会	高島平五丁目第二公園
高島平七丁目公園愛護協力会	高島平七丁目公園
高島平七丁目第二公園愛護協力会	高島平七丁目第二公園

■ 公園等分佈図



■ 公共施設分布状況（公園管理施設）

参考：公共施設等の整備に関するマスタープラン（平成25年5月・板橋区）



参考：板橋区街路樹マップ（平成12年3月・板橋区）、TOKYO道路のみどりマップ2013（東京都）

